

委託事業実施内容報告書
2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】

実施内容報告書

団体名：一般社団法人磐田国際交流協会

1. 事業の概要

事業名称	多様性豊かで元気なまちづくりに資する日本語教育事業
事業の目的	これまで築き上げてきた地域の連携体制と対話活動・行動体験活動を基盤に、生活課題の解決やキャリアアップに役立つ活動内容に、更に「楽しい」要素を取り入れて教室の魅力アップを図るとともに、教室活動の様子の発信と参加者の募集方法を工夫することで、より多くの外国人の参加を促し、「生活者としての外国人」の生活課題の解決と地域の多文化理解を促進し、誰もが地域社会で自分らしくより豊かに生活できることを目指す。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	【地域に居住する外国人の実情】 磐田市の外国人の人口は2018年11月末現在7,751人で、総人口の約4.6%を占め、日本人の人口減少も相まって、一年間で約0.2%高くなっている。国籍別では、ブラジルが58%、フィリピン14%で、中国、ベトナム、インドネシアと続き、多国籍化の傾向がみられる。在留資格別では、永住者が42%、定住者が30%で技能実習、日本人の配偶者と続く。技能実習の伸びが目立つ一方で、特定活動や技術・人文知識・国際業務も増えており、日本語教育に対するニーズが多様化している。 【日本語教育活動の現状】 市内4カ所まで日本語教室を実施。対話を中心とした活動(以下、「対話活動」という。)を基盤に、地域の機関・団体等と連携して行動・体験を中心とした活動(以下、「行動体験活動」という。)に取り組んでいる。 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム(B)を過去通算4年間実施した実績により、幅広い連携体制を安定的に維持している。 外国人学習者と共に参加する地域防災訓練や文化祭、夏まつり等は、地元の方から参加を期待されるまでになり地域に根づいた活動となっている。 更に「日本生活スタートクラス」では、病院、クリニック、行政、消防署、警察署、地域交流センター、市民団体、県国際交流協会、店舗等、様々な機関・団体・専門家の協力を得て積極的に行動体験活動を実施し、ブラジル人学習者のある程度の定着を実現することができた。 【日本語教育活動を行う上での課題】 ・外国人人口に比べて、教室を訪れる外国人の数はまだまだ少ない。もっと多くの外国人に足を運んでもらうアイデアと工夫があるとよい。(活動場所・活動内容・発信力) ・日本語教室の維持と発展のためには、継続的に日本語支援者を増やしていかなければならない。 ・「日本生活スタートクラス」以外では、行動体験活動の実施頻度が少ない。行動体験活動がスタンダードとなるような働きかけと環境整備が必要。 ・外国人労働者受入れ拡大の流れの中で、企業との連携強化を図っていく必要がある。(外国人参加者募集・学習内容・運営資金)
これまで日本語教育が行われていない市区町村の状況	
事業内容の概要	【日本語教育の実施】 市内5カ所まで、日本語教室を実施した。 ①豊田教室、②西貝教室、③竜洋教室、④ワークピア教室、⑤ららぽーと磐田教室(新規設置) 各教室に外国人参加者のニーズに合わせたクラスを設置した。 ①豊田教室：対話クラス、レベル別クラス、子どもクラス ②西貝教室：対話クラス、レベル別クラス、子どもクラス ③竜洋教室：対話クラス、子どもクラス ④ワークピア教室：対話クラス、日本生活クラス、レベル別クラス、子どもクラス ⑤ららぽーと磐田教室：日本生活クラス (特徴) ・対話クラスと日本生活クラスでは、行動体験活動を取り入れ、地域の機関・団体等と連携・協力を図ることで、生活課題の解決と外国人のキャリアアップにつながる日本語活動を行うと同時に、外国人と地域住民との接点を作り、外国人の地域におけるネットワークの構築と社会参加につなげた。 ・ららぽーと磐田教室では、ららぽーと磐田館内の店舗を活用したり、施設のイベントと連動させるなどの行動体験活動を取り入れた。また、ゲーム性やイベント性を持たせたプログラムを工夫することで、ららぽーと磐田ならではのワクワクする楽しさを特色とした日本語教室を実現し、外国人参加者の増員と定着につなげるとともに、多文化のまちの発信地となることを目指した。 (参加者募集の工夫) ・日本語教室の活動の様子をSNS等を利用して多言語で発信し、外国人参加者と日本人参加者の増員につなげた。 ・磐田商工会議所やららぽーと磐田を通じて日本語教室開催を広く周知した。 【日本語教育を行う人材の養成・研修の実施】 A. 日本語ボランティア養成講座 対話活動のプログラムを作成して進行する人材と、対話の相手となる補助者を養成し日本語支援者を増やした。 第1回 日本語教室見学・オリエンテーション 第2回 地域の多文化共生 第3回 地域日本語教室の在り方と日本語ボランティアの役割 第4回 コミュニケーションスキル(発話調整・やさしい日本語・傾聴の仕方) 第5回 実践1(対話活動補助者の体験) 第6回 対話活動の計画の立て方 第7回 対話活動の計画を立てる 第8回 実践2(対話活動進行役の体験) 第9回 振り返り・今後の活動について ※2012年度に作成した教材「磐田地域日本語教室対話活動のための教材 ほんごでおしゃべりしよう!」を活用した。 講座を通して、多文化共生のまちづくりの意識を醸成し、外国人に対して「教える」ではなく「学び合い、共に作る」姿勢を持って、対話活動を実践できる人材を養成し、日本語支援者の不足の解消と活動内容の更なる充実を目指した。 (特徴) ・どんな場で活動するのかイメージを持って学ぶため、初回に日本語教室を見学し、オリエンテーションで磐田の外国人の状況や磐田の日本語教室の目指すところを学んだ。 ・対話活動とはどういうものかまず体験してみるためと、座学で学んだコミュニケーションスキルを実践するために、第5回で「実践1(対話活動補助者の体験)」を行った。 ・講座修了後にスムーズに教室活動に参加できるよう、対話活動の案を作成し実際の教室で授業を行う実践を取り入れた。 (参加者募集の工夫) ・受講者募集の際、退職教職員関係団体を通して元教員に向けて募集チラシを配布した。教えるプロである元教員に日本語支援者になってもらうことで、活動内容の幅の広がりと指導者のスキルアップができた。

	B. 地域つながり方デザイン講座 実際に地域の人と出会い、つながる体験を通じて日本語を学んでいく行動体験活動をデザインし、連携・協力者と調整して実施できる人材を養成した。 第1回 ・外国人のニーズに合ったテーマの選択と目標設定 ・協力者の役割・選択・依頼・調整の方法 第2回 ・活動の流れのつくり方と活動をスムーズに行うための教材・資料 ・学びの見える化と学びの確認の方法 第3回 行動体験活動の計画を立てる 第4回 実践 第5回 振り返り ※2018年度に作成した教材「行動体験活動をデザインするための教材」を活用した。 (特徴) 2018年度に初めて実施した「地域つながり方デザイン講座」(1回4時間)の内容を、5回に拡大することで実際に行動体験活動の実施につながるよう教室での実践を取り入れた。 【日本語教育のための学習教材の作成】 2018年度に作成した教材「行動体験活動をデザインするための教材」の整備・拡充を行った。 ・写真やイラストの整備 ・行動体験活動のプログラム案とワークシート等の教材案の追加 ・つくり方の各項目についてより分かりやすくなるよう説明や図などを補足・追加
事業の実施期間	2019年5月～2020年3月 (11か月間)

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	米勢 治子	東海日本語ネットワーク・副代表
2	高畑 幸	静岡県立大学国際関係学部・教授
3	古橋 哉子	(公財)静岡県国際交流協会・主任
4	村上 勇夫	磐田市自治会連合会・会長
5	高木 昭三	浜松磐田信用金庫・会長
6	鈴木 隆之	磐田市商工会議所・専務
7	平野 利直	平野ビニール工業株式会社・代表取締役
8	阿部 俊典	太平工業株式会社・総務課 課長
9	岩井 崇行	三井不動産商業マネジメント株式会社(ららぽーと磐田)・所長代理
10	礒部 公明	磐田市地域づくり応援課・課長



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	令和元年6月24日 (月) 13:00~15:00	2時間	磐田市豊田支所2階 大会議室	【運営委員】米勢治子、古橋哉子、村上勇夫、堀崎慎一(高木昭三会長代理)、鈴木隆之、平野利直、岩井崇行、礒部公明 【オブザーバー】藤田昌弘、高塚勝久、川添裕子(加藤恵美代理)、仲田明子、田中琢間、伊藤ゆかり、足立進一郎 【事務局】鈴木ゆみ	1. 2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 概要説明 2. 各教室の実施状況と課題及び今後の活動計画について説明・協議 3. 意見交換 ・外部講師が日本語教室に関わることで、在住外国人への理解が深まり、相手に合わせたコミュニケーションが取れるようになることが大事であり、日本語の専門性とは違う人間関係の作り方が必要。 ・企業から、日本語教室の情報を従業員に渡してもらえば多くの人に知ってもらえる。商工会議所で会員企業宛てに会報誌を送る際に、同封することができる。 ・地域の交流センターを活用して、地域の多文化共生のための日本語教室を開いてもらいたい。 ・どの媒体を見て参加申込みをしたかわかるとよい。 ・財源確保のためにも企業とお互い協力できるとよい。
2	令和元年11月11日 (月) 13:00~15:00	2時間	磐田市豊田支所2階 大会議室	【運営委員】米勢治子、古橋哉子、高畑幸、堀崎慎一(高木昭三会長代理)、阿部俊典、岩井崇行、藤田昌弘(礒部公明課長代理) 【オブザーバー】加藤千晴、高塚勝久、加藤恵美、楠田登志代(仲田明子代理)、田中琢間、伊藤ゆかり、足立進一郎 【事務局】鈴木ゆみ、川添裕子	1. 報告 ・日本語教室に参加したきっかけ(媒体、媒介)について ・日本語ボランティア養成講座(経過報告) ・その他(静岡県多文化共生課日本語教育実態調査及び日本語教室視察協力等) 2. 各教室の実施状況と課題及び今後の活動計画について説明・協議 3. 意見交換 ・日本生活クラスの通訳はポルトガル語の通訳がいることでブラジル人に特化したクラスになっている。それぞれの言語で学習者に「寄り添う人」を置いてはどうか。フィリピンの通訳を確保するとよい。通訳というより「外国人住民コーディネーター」として役割を担ってもらう。ただ、フィリピンのキーパーソンを確保するのは困難。 ・教室に来てほしい人がなぜ来られないのかについては、県が今年度実施している調査の結果を参考にできる。 ・磐田市で職員が企業を訪問する際に、日本語教室のチラシを配布する予定。多文化共生を考える時、企業の協力が欠かせない。
3	令和2年2月28日 (金) 13:00~15:00	2時間	磐田市役所4階 大会議室	【運営委員】米勢治子、古橋哉子、村上勇夫、堀崎慎一(高木昭三会長代理)、阿部俊典、岩井崇行、藤田昌弘(礒部公明課長代理) 【オブザーバー】高塚勝久、川添裕子(加藤恵美代理)、楠田登志代(仲田明子代理)、田中琢間、大石佳典(伊藤ゆかり代理)、足立進一郎 【事務局】鈴木ゆみ	1. 報告 ・日本語教室に参加したきっかけ(媒体、媒介)について ・日本語ボランティア養成講座 ・地域つながりデザイン講座(経過報告) ・その他(東海日本語ネットワークシンポジウム出展、湖西市日本語学習ボランティア講師、いわたインターナショナルフェア2020日本語スピーチ出場、企業内技能実習生対象日本語講習) 2. 各教室の実施状況と課題及び今後の活動計画について説明・協議 3. 今年度の総括および来年度の方向性について意見交換 ・多文化共生のためには、継続性を問わずいろいろな立場の人がいつでも来られる教室であるべき。そのためには、1回完結で成立する活動がよい。 ・就労現場で教室を行うのが継続した学習に繋がる。労働管理の中に従業員の日本語教育も組み込むべき。 ・文化庁の日本語教育事業で企業内日本語学習支援を行えるとよい。

(2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	・磐田市役所外国人情報窓口の協力を得て、入国・転入者及び相談者等に日本語教室の情報を周知することにより、外国人の参加を促進した。 ・磐田商工会議所の協力を得て、市内企業に向けて日本語教室開催を広く周知し、外国人の参加を促進した。 ・三井不動産商業マネジメント株式会社ららぽーと磐田オペレーションセンターの協力を得て、外国人も集まる商業施設ららぽーと磐田のLaLa Clubの会場で日本語教室を開催した。 ・「ららぽーと磐田教室」の新規立ち上げに当たり、ららぽーと磐田の担当者と一緒に、施設周辺企業を回り、日本語教室を周知し外国人の参加を促進した。 ・行政機関(ごみ対策課、危機管理課、福祉課、自治会担当課、健康増進課、市立病院医事課、学校教育課、市立図書館等)の職員を日本語教室に講師として招いたり施設を訪問する等して、それぞれの専門について外国人市民への情報提供や啓発をしてもらうことと、外国人参加者が健康かつ安全な生活を送ることに役立った。 ・クリニック、図書館、消防署、金融機関、学校教諭、県国際交流協会、市民団体、店舗、日本文化の専門家等の協力を得て行動・体験活動を実施することにより、外国人参加者が社会生活のルールやシステムを学んだり、生活に必要な日本語を身につけ、自立した生活ができるように支援した。 ・地域交流センターや社会福祉協議会主催のイベントに参加して地域住民と交流をすることにより、地域住民との相互理解を図り、地域社会の一員としての意識を醸成したり、地域の多文化共生に対する理解を促進した。 ・自治会や自主防災会が主催する地域防災訓練に、行動体験活動として外国人も参加し、外国人の防災意識を高めると同時に、地域の多文化防災の促進に貢献した。 ・「日本語ボランティア養成講座」の実施に当たり、静岡県立大学、東海日本語ネットワーク、千葉県国際交流協会から講師を招き、人材養成につなげた。 ・「日本語ボランティア養成講座」の受講者募集の際、静岡県退職女性教職員の会磐周支部を通して募集チラシを配布した。
------	---

(3) 中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	【日本語教育の実施】 東海日本語ネットワーク 副代表 米勢治子 アドバイザー 鈴木ゆみ コーディネーター(教室間調整, 指導者・補助者配置, 相談・助言) 川添裕子 コーディネーター(日本語支援者の指導・助言, 新規学習者対応)事務作業担当, 指導者 足立進一郎 ワークピア教室コーディネーター(教室運営・活動企画), 指導者 伊藤ゆかり 竜洋教室コーディネーター(教室運営・活動企画), 指導者 加藤恵美 豊田教室コーディネーター(教室運営・活動企画), 指導者 仲田明子 西貝教室コーディネーター(教室運営・活動企画), 指導者 田中琢間 ららぽーと磐田教室コーディネーター(教室運営・活動企画), 指導者 磐田市地域づくり応援課 ワークピア教室の会場の確保 三井不動産商業マネジメント株式会社ららぽーと磐田オペレーションセンター ららぽーと磐田の会場の確保, ららぽーと磐田教室の参加者募集チラシ配架・掲示 磐田市外国人情報窓口 日本語教室参加者募集チラシ配布 行政機関(ごみ対策課, 危機管理課, 福祉課, 健康増進課, 市立病院医事課, 学校教育課, 市立図書館等) 対話活動・行動体験活動の講師 クリニック, 図書館, 消防署, 警察署, 学校教諭, 県国際交流協会, 店舗, 日本文化の専門家等行動体験活動への協力 社会福祉協議会「ふれあい広場」主催 西貝地区文化祭実行委員会及び西貝交流センター「西貝地区文化祭」主催 竜洋交流センター 竜洋地区地域活性化事業 各種市民団体・日本人住民 行動・体験活動の講師・参加者等 【日本語教育を行う人材の養成・研修の実施】 A. 日本語ボランティア養成講座 川添裕子 コーディネーター(企画・運営, 連携交渉・調整), 事務作業担当, 「実践1」「活動計画の立て方」「活動計画を立てる」「実践2」「振り返り・今後の活動について」講師 鈴木ゆみ「教室見学・オリエンテーション」講師 静岡県立大学国際関係学部 准教授 高畑幸「地域の多文化共生」講師 東海日本語ネットワーク 副代表 米勢治子「地域日本語教室のあり方と日本語ボランティアの役割」講師 (公財)千葉市国際交流協会 委嘱日本語コーディネーター 萬浪絵理「コミュニケーションスキル」講師 B. 地域つながり方デザイン講座 鈴木ゆみ コーディネーター(企画・運営, 連携交渉・調整), 事務作業担当, 講師 【日本語教育のための学習教材の作成】 執筆者 鈴木ゆみ、川添裕子
-----------------	---

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称:人との出会いが楽しい！人生が豊かになる日本語教室】																																																																											
目的・目標	「生活者としての外国人」の生活課題の解決・キャリアアップ・参加者相互理解を促進する。対話活動及び行動体験活動を通じて、「生活者としての外国人」のエンパワーメントと更なる社会参加を目指す。																																																																										
内容の詳細	●市内5カ所で、日本語教室を実施した。 ①豊田教室:対話クラス、レベル別クラス、子どもクラス 1回2時間×26回 6時間×1回 6.5時間×1回 3時間×1回 ②西貝教室:対話クラス、レベル別クラス、子どもクラス 1回2時間×25回 1.5時間×1回 7時間×1回 ③竜洋教室:対話クラス、子どもクラス 1回2時間×21回 3.5時間×1回 7.5時間×1回 5時間×1回 ④ワークピア教室:対話クラス、日本生活クラス、レベル別クラス、子どもクラス 1回2時間×27回 1.5時間×1回 2.5時間×1回 ⑤ららぽーと磐田教室:日本生活クラス 1回1.5時間×17回 ・対話クラスと日本生活クラスでは、行動体験活動を取り入れた。 ・日本生活クラスには、ポルトガル語通訳を配置した。 ・対話活動と行動体験活動を行う際には、外国人参加者のニーズに合わせて「生活課題の解決」「相互理解」「キャリアアップ」「社会参加」の目的別にトピックやテーマを選定した。 ・ららぽーと磐田教室では、ららぽーと磐田館内の店舗を活用したり、施設のイベントと連動させるなどの行動体験活動を取り入れた。またゲーム性やイベント性を持たせたプログラムを工夫することで、ららぽーと磐田ならではのわくわくする楽しさを特色とした日本語教室を目指した。 ●教室コーディネーターミーティングの実施 1回2時間×3回 日本語教室の目標の理解を深め、教室間の活動のばらつきを解消し、よりよい日本語教育環境を整備するために、教室コーディネーターミーティングを実施した。 第1回 日本語教室の目的・目標の確認、今年度の事業計画説明、「カリキュラム案等」の活用の仕方、「行動体験活動をデザインするための教材」(2018作成)の活用の仕方、情報交換 第2回 行動体験活動の実施状況、教室活動の改善、情報交換 第3回 今年度の振り返り、日本語教室活動の検証、「行動体験活動をデザインするための教材」の検証 メンバー9人:加藤恵美、仲田明子、楠田登志代、伊藤ゆかり、足立進一郎、田中琢間、川添裕子、鈴木ゆみ、米勢治子																																																																										
実施期間	令和元年5月9日～令和2年2月27日	授業時間・コマ数	<table><tr><td>1回</td><td>1.5時間</td><td>×</td><td>19回</td><td>=</td><td>28.5時間</td></tr><tr><td>1回</td><td>2.0時間</td><td>×</td><td>99回</td><td>=</td><td>198.0時間</td></tr><tr><td>1回</td><td>2.5時間</td><td>×</td><td>1回</td><td>=</td><td>2.5時間</td></tr><tr><td>1回</td><td>3.0時間</td><td>×</td><td>1回</td><td>=</td><td>3.0時間</td></tr><tr><td>1回</td><td>3.5時間</td><td>×</td><td>1回</td><td>=</td><td>3.5時間</td></tr><tr><td>1回</td><td>4.5時間</td><td>×</td><td>1回</td><td>=</td><td>4.5時間</td></tr><tr><td>1回</td><td>5.0時間</td><td>×</td><td>1回</td><td>=</td><td>5.0時間</td></tr><tr><td>1回</td><td>6.0時間</td><td>×</td><td>1回</td><td>=</td><td>6.0時間</td></tr><tr><td>1回</td><td>6.5時間</td><td>×</td><td>1回</td><td>=</td><td>6.5時間</td></tr><tr><td>1回</td><td>7.0時間</td><td>×</td><td>1回</td><td>=</td><td>7.0時間</td></tr><tr><td>1回</td><td>7.5時間</td><td>×</td><td>1回</td><td>=</td><td>7.5時間</td></tr><tr><td colspan="6">総計 272時間</td></tr></table>	1回	1.5時間	×	19回	=	28.5時間	1回	2.0時間	×	99回	=	198.0時間	1回	2.5時間	×	1回	=	2.5時間	1回	3.0時間	×	1回	=	3.0時間	1回	3.5時間	×	1回	=	3.5時間	1回	4.5時間	×	1回	=	4.5時間	1回	5.0時間	×	1回	=	5.0時間	1回	6.0時間	×	1回	=	6.0時間	1回	6.5時間	×	1回	=	6.5時間	1回	7.0時間	×	1回	=	7.0時間	1回	7.5時間	×	1回	=	7.5時間	総計 272時間					
1回	1.5時間	×	19回	=	28.5時間																																																																						
1回	2.0時間	×	99回	=	198.0時間																																																																						
1回	2.5時間	×	1回	=	2.5時間																																																																						
1回	3.0時間	×	1回	=	3.0時間																																																																						
1回	3.5時間	×	1回	=	3.5時間																																																																						
1回	4.5時間	×	1回	=	4.5時間																																																																						
1回	5.0時間	×	1回	=	5.0時間																																																																						
1回	6.0時間	×	1回	=	6.0時間																																																																						
1回	6.5時間	×	1回	=	6.5時間																																																																						
1回	7.0時間	×	1回	=	7.0時間																																																																						
1回	7.5時間	×	1回	=	7.5時間																																																																						
総計 272時間																																																																											
対象者	生活者としての外国人	参加者	総数 542人 (受講者412人、指導者・支援者等130人)																																																																								
カリキュラム案活用	・「生活上の行為達成の記録」を使ってニーズを把握した。 ・「能力記述の一覧」を参考にして学習目標を立てた。 ・「生活上の行為の事例」を参考にしてトピックやテーマを選定した。 ・「教材例集」を参考にして活動計画を立てた。 ・「教室活動の記録」や「毎回の学習の記録」を参考に振り返りシートを作成した。 ・「ガイドブック」を参考にして教室活動を見直した。																																																																										

使用した教材・リソース	【対話クラス・日本生活スタートクラス】 磐田対話教材「にほんごでおしゃべりしよう!」、行動体験の活動のための教材「街に出よう! 人と出会う!」、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案・教材例集・日本語能力評価、文化庁生活上の行為一覧(詳細版)、Can-do Statements、水書き書道用具、夏まつりの写真、ゲーム用新聞紙、ゴミの分別パネル、ゴミカレンダー、ゴミ袋、ゴミシール、「安全運転を確かなものにするために」、「安全運転の手引き」、避難生活ガイドブック、防災地図、非常持出品、非常持出品一覧、わが家の防災メモ、日本地図、旅行パンフレット、ガイドブック、杏林堂チラシ、杏林堂ポイントカード申込書、市販薬、体のイラスト、杏林堂のポイントカード、楽天のポイントカード、活動進行表、LaLaport磐田館内マップ、LaLaport磐田ポイントカード申込用紙、申込用紙練習シート、夏祭り・花火大会情報、磐田市広報ブラジル語版、健診検査結果サンプル、講師持ち込み教材(2019年度 磐田市健康診断のご案内、健診リーフレット、健診申込書)、問診票(特定健診、採血確認書、胸部エックス線受診票、胃バリウム検査提示用)、防災用品(懐中電灯等)、磐田市防災ガイドブック、磐田市指定避難所一覧、自転車もルールを守って安全運転のチラシ(市役所より)外国人住民のための避難生活ガイドブック(日本語、英語、ポルトガル語、タガログ語)、学習記録、学習確認シート、提示用キーワード/イラスト・写真、模造紙、付箋、ブロッキー、カラーシール、手作り資料など、補助者意見シート、ふりかえりシート等、基本教材(模造紙、付箋紙、ブロッキー、メモ用紙、マグネット等) 等 【レベル別クラス】 にほんごこれだけ1, 2(ココ出版)、実用ビジネス日本語(アルク)、自主作成プリント、もうぶ動詞カード、形容詞カード、漢字マスターN4,N3,N2(アークアカデミー)、日本語総まとめ(アスク)、慣用句集、日本語で暮らそう、初級でよめるトピックス25、日本語能力試験対策問題集、にほんごチャレンジ、日本語総まとめ、にほんごチャレンジN4かんじ(アスク)、にほんごチャレンジN4ことば(アスク)、にほんご単語ドリル慣用句(アスク)、ことば 文法 N4、まんがことわざ事典(学研)、まんが四字熟語辞典(学研)、TRY!日本語能力試験N4、N4文法スピードマスター(Jリサーチ)、日本語単語ドリル慣用句(アスク)、1日15分の漢字練習 初級～初中級①(アルク)、日本語能力試験N3/語彙(アスク)、レベルチェック問題集N3(WEB)、にほんごチャレンジN4かんじ(アスク)、N4文法スピードマスター(Jリサーチ)、短期マスター日本語能力試験ドリルN5(凡人社)、レベルチェック問題N5(WEB)、助詞問題集(自作)等 【子どもクラス】 はまっこ、絵本、各学年教科書やドリル問題集、図書室にある本、辞書、辞典、図鑑など日本語で暮らそう、初級で読めるトピックス、新聞(自持記事)季節ごとの情報など、メウアミーゴ、学校宿題、教科書、ドリル、自作プリント、五十音カード 等									
	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
	22人	0人	159人	113人	0人	9人	20人	10人	65人	1人
インド(3人)、台湾(3人)、パングラディシュ(2人)、オーストラリア(2人)、ナイジェリア(2人)、アメリカ(1人)										
日本語教育の実施内容【豊田教室】										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名		
1	令和元年05月09日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	10	地震・避難所	地震の時、避難する場所(避難地・避難所)を確認する。地震や避難所で心配になることを話しあう。	青島純江,宇野薫,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,茂木真佐代(謝金無し),吉田洋子	青島佐希子,伊藤ゆかり,大石佳典,大庭唯弘,兼子桂司,立花チアゴ・ミツオ,中山修		
2	令和元年05月16日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	11	非常持出品 我が家の防災メモ	非常持出品:実物を見せて説明 ⇒ 作成した非常持出品一覧のうち自宅にある物にチェック ⇒ 無い物はどこで調達できるか調べて書く 我家の防災メモ:川添さんから説明をもらい ⇒ 川添さん作成の防災メモにそれぞれ記入 ⇒ 個人情報以外で特記した事をそれぞれ発表し共有する	青島純江,宇野薫,大石佳典,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,吉田洋子	伊藤ゆかり,大庭唯弘,立花チアゴ・ミツオ,中山修,早川仁美		
3	令和元年05月23日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	16	①日本を知ろう ②Facebookの活用について	①グループで相談し、場所を決め、それについて調べ、発表する。 ②豊田教室で情報を共有するために作成したFacebookについて学習者のホーさんから説明	宇野薫,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,伊藤ゆかり,大石佳典,大庭唯弘,兼子桂司,立花チアゴ・ミツオ,中山修,早川仁美		
4	令和元年06月06日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	17	買い物	①レジでのやりとりができるよう、「袋」「ポイントカード」などについて聞かれた時の答え方を考える。②自分が買いたいものを店員に尋ねられるよう、買いたいものの日本語での言い方、店員への尋ね方をグループで確認する。	青島純江,宇野薫,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,茂木真佐代(謝金無し),吉田洋子	伊藤ゆかり,大石佳典,大庭唯弘,兼子桂司,簡書武,立花チアゴ・ミツオ,中山修,早川仁美		
5	令和元年06月13日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	9	くすり	①薬剤師等とのやり取りを寸劇で提示、体の部位と症状の例をあげる ②グループで自分の体の具合の悪いところを話したり、やりとりの仕方を確認する ③補助者が薬剤師、受講者が客で寸劇を発表する	宇野薫,大石佳典,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,伊藤ゆかり,大庭唯弘,簡書武(李さん付添),兼子桂司,立花チアゴ・ミツオ,中山修		
6	令和元年06月20日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	10	ドラッグストアへ行ってみよう	・6月6日「買い物」、6月13日「薬」の様子を説明し、今回のテーマ、キーワードを提示 ・ドラッグストアへ行き、ポイントカードを作り、買い物をする ・教室に戻り、全員でふりかえり	青島純江,伊藤ゆかり,宇野薫,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫	大石佳典,大庭唯弘,中山修,吉田洋子		

7	令和元年07月04日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	15	健康診断	市の健康診断・がん検診の話を講師から聞き、質問する。また、検査項目(問診、心電図検査など)の日本語と意味をイラストを使って説明、検査結果のことは(異常なし、要再検査など)を説明し、検査結果のサンプルから該当する漢字を探すワークを行う。	青島純江,宇野薫,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,吉田洋子,河田憲二(外部講師・謝金無し)	青島佐希子,大石佳典,兼子桂司,立花チアゴ・ミツオ,中山修,茂木真佐代,山本武志,西野弘人
8	令和元年07月11日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	8	①健康診断の問診票を書く ②イベント参加について ③次回のテーマを考える	①前回のテーマ健康診断に続き、受診の際に記入する問診票を見て、書かれていることを知り、実際に記入する。 ②イベントの紹介と参加について考える。 ③次回のテーマを考える。	宇野薫,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,吉田洋子	伊藤ゆかり,大石佳典,中山修,町田郁哉,山本武志
9	令和元年07月25日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	11	職場で使う言葉	・職場で分からない時などに聞き返す言葉の例 「すみませんが、もう一度教えていただけますか？」 「すみませんが、もう一度教えてください」 「すみませんが、もう一度お願いします」を提示して説明 ・職場や日常生活で分からない事があつた時の話をし、補助者からその時の聞き返す言い方をアドバイスしてもらう ・フェスタ富岡についての確認・話し合いとメニュー表作り(進行担当:恵美)	青島純江,伊藤ゆかり,宇野薫,加藤恵美,前嶋義夫,吉田洋子	大石佳典,大庭唯弘,中山修,山本武志
10	令和元年08月01日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	6	防災・警報	①エリアメールとキーワード、警戒レベル、対話クラスで共有するFacebookアカウント「Toyodacho Nihongo」、近所とのつながりの提案について、対話の提示で進行役が説明 ②グループ対話でエリアメールの受診確認、Toyodacho Nihongoの活用について考え、全体で共有する	大石佳典,加藤恵美,前嶋義夫	伊藤ゆかり,西野弘人,中山修,早川仁美,山本武志
11	令和元年08月03日 (土) 14:00～20:00	6	豊田北部小学校	6	フェスタ富岡に参加する	料理販売(2か国:台湾、ブラジル)、浴衣を着て夏祭り(盆踊り、屋台での買い物、手持ち花火など)を体験する。	加藤恵美6h(14:00～20:00)	伊藤ゆかり2h(17:30～19:30),宇野薫1.5h(15:30～17:00),大石佳典4h(15:30～19:30),大橋八代0.5h(着付け15:00～15:30),片岡静彦4h(15:30～19:30),加藤厚美0.5h(着付け15:00～15:30),立花チアゴ・ミツオ2h(16:00～18:00),鈴木ゆみ2.5h(17:00～19:30),中山修4h(15:30～19:30),西野弘人4.5h(15:00～19:30),早川仁美4h(15:30～19:30),茂木真佐代6h(14:00～20:00)
12	令和元年08月22日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	8	菓子・料理	好きなお菓子や、料理を紹介。好きな理由、作り方、食べ方や味を提示。味の表現や作り方の言い方も提示する。グループで対話し、発表して全員で共有。	青島純江,宇野薫,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,伊藤ゆかり,大石佳典,西野弘人,茂木真佐代
13	令和元年09月05日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	16	テーマを決めよう	できるようになりたいこと、知りたいことを考え、補助者と話しながら日本語にする。自分ができるようになりたいことを発表して全員で共有。	宇野薫,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,茂木真佐代(謝金無し),吉田洋子	伊藤ゆかり,大石佳典,兼子桂司,鈴木ゆみ(Co.),寺田良毅,西野弘人,早川仁美
14	令和元年09月19日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	17	買いたいもの	買いたいものとその理由や条件、買う場所、お店に人に聞きたいことを考え、補助者と話しながらワークシートに記入し、発表する。	青島純江,宇野薫,加藤恵美,前嶋義夫,茂木真佐代(謝金無し),吉田洋子	青島佐希子,大石佳典,大庭唯弘,兼子桂司,川添裕子(Co.),齋藤まち子,立花チアゴ・ミツオ,西野弘人,早川仁美,山本武志,(以下養成講座受講者)澤野孝光,鈴木干菜,寺田良毅,平尾利華
15	令和元年09月26日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田支所	11	豊田ふれあいフェスタの計画	豊田ふれあいフェスタの概要と参加する目的を共有し、今年の出し物を考える。料理、ゲーム、パネル、インタビューの4チームに分かれ、詳細をグループで考えたあと、進捗を共有。ペア対話も行う。	加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,茂木真佐代(謝金無し),吉田洋子	青島佐希子,大石佳典,兼子桂司,齋藤まち子

16	令和元年10月10日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田 支所	14	豊田ふれあいフェ スタの準備	豊田ふれあいフェスタの概要と参加する 目的を共有し、今年の出し物を考える。 自分の考えを言えるように、キーフレー ズを事前に紹介した後、料理、ゲーム、 パネル、インタビューの4チームに分か れ、詳細をグループで考える。全体で進 捗を共有し、ペア対話も行う	宇野薫,加藤 恵美,川添裕 子,前嶋義夫, 吉田洋子	伊藤ゆかり,大石佳典,大庭唯弘, 兼子桂司,齋藤まち子,立花チア ゴ・ミツオ,茂木眞佐代
17	令和元年10月24日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田 支所	12	豊田ふれあいフェ スタの準備②	料理、ゲーム・パネル・インタビューの2 チームに分かれ、詳細をグループで考 えたあと、進捗を共有。ペア対話も行 う。	宇野薫,加藤 恵美,川添裕 子,前嶋義夫, 吉田洋子	青島佐希子,大石佳典,兼子桂司, 茂木眞佐代,山本武志
18	令和元年10月31日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田 支所	15	豊田ふれあいフェ スタの準備③	国別のグループで、豊田ふれあいフェ スタで展示するパネルを作成する。パネ ルを使って自分の国を紹介する。	宇野薫,加藤 恵美,川添裕 子,前嶋義夫, 茂木眞佐代 (謝金無し), 吉田洋子	青島佐希子,大石佳典,兼子桂司, 齋藤まち子,立花チアゴ・ミツオ,早 川仁美,山本武志
19	令和元年11月03日 (日)8:30～15:00	6.5	アミューズ 豊田	10	豊田ふれあいフェ スタに参加する	【料理販売・わなげ・パネル展示】 ・台湾、フィリピン、ブラジルの料理を前 日または当日調理し、販売する。 ・わなげをした来場者に、外国語のあい さつを書いた葉を渡す。 ・教室活動で作成した国紹介のパネル (台湾、フィリピン、ベトナム、ブラジル、 教室)を展示する。	加藤恵美 6.5h(8:30～ 15:00),川添 裕子 6.5h(8:30～ 15:00)	大石佳典6.5h(8:30～15:00※途中 西貝文化祭へ),大庭唯弘2h(12:00 ～14:15),山本武志4.5h(8:30～ 13:15)
20	令和元年11月14日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田 支所	10	趣味	趣味についてグループで話した後、自 分の趣味、またはグループで聞いた他 の人の趣味について発表する。ペアで の対話、今日の学習のまとめを行う。進 行は日本語ボランティア養成講座の受 講者。	猪多由菜,澤 野孝光,中山 緑,渡瀬孝代 (以上4人謝 金無し:日本 語ボランティ ア養成講座 受講者),青 島純江,宇野 薫,加藤恵美, 前嶋義夫,吉 田洋子	伊藤ゆかり,大石佳典,兼子桂司(8 時過ぎまで),川添裕子(Co.),立花 チアゴ・ミツオ
21	令和元年11月21日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田 支所	14	救急車のよび方	ワークシートを使い、現在の体の不調や 過去のケガや病気の経験を話す。ま た、119通報について説明した後、実際 に119番通報訓練を行う(2名)。	宇野薫,加藤 恵美,川添裕 子,前嶋義夫, 吉田洋子	伊藤ゆかり,兼子桂司,茂木眞佐 代,中東遠消防指令センター大場 さん(協力者)
22	令和元年11月28日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田 支所	14	防災	それぞれの避難場所と避難所を住所か ら調べる 災害情報を紹介しそれぞれ情報のとれ るものを調べる	青島純江,宇 野薫,大石佳 典,加藤恵美, 川添裕子,前 嶋義夫	青島佐希子,伊藤ゆかり,大石佳 典,兼子桂司,西野弘人,茂木眞佐 代,山本武志
23	令和元年12月01日 (日)9:00～12:00	3	磐田市立豊 田北部小学 校	34	地域防災訓練への 参加	富岡地区の地域防災訓練に参加する。 日本人、外国人合わせて42人の参加者 が6Gに分かれて、富岡地区の担当者 の引率により、様々な訓練を見学・体 験。	加藤恵美 3h(9:00～ 12:00)	石川淳子2h(9:45～12:00),大石佳 典3h(9:00～12:00),川添裕子 3h(9:00～12:00),河原崎孝道(平野 ビニール工業株式会社社員) 3h(9:00～12:00),鈴木ゆみ3h(8:45～ 12:00),永岡繁(通訳)2.5h(9:30～ 12:00),永岡春美2.5h(9:30～12:00)
24	令和元年12月12日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田 支所	11	忘年パーティーに ついて考える	忘年パーティーについて説明。出し物を みんなで考え、意見交換をする。 決まった内容を発表。リーダーを決め る。	宇野薫,加藤 恵美,川添裕 子,前嶋義夫, 吉田洋子	青島佐希子,伊藤ゆかり,大石佳 典,兼子桂司,西野弘人,山本武志, 茂木眞佐代
25	令和01年12月19日 (木) 19:00～21:00	2	磐田市豊田 支所	13	忘年パーティー	軽食を摂りながら、ゲームや出し物を楽 しみ、参加者同士交流を図る。	加藤恵美	青島佐希子,伊藤ゆかり,宇野薫, 大石佳典,兼子桂司,川添裕子,齋 藤まち子,鈴木ゆみ,前嶋義夫,茂 木眞佐代,山本武志,吉田洋子

26	令和2年01月16日(木) 19:00～21:00	2	豊田福祉センター	14	年末年始にしたこと・テーマを決めよう	年末年始にしたことをグループで話し、一人ずつ発表する。できるようにしたいこと、話したいことを出してもらい、今後のテーマを決める。	青島純江,宇野薫,川添裕子,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,伊藤ゆかり,大石佳典,西野弘人,早川仁美,藤村克英,山本武志,茂木眞佐代
27	令和2年01月30日(木) 19:00～21:00	2	豊田福祉センター	21	2月・3月の日本の行事	・「節分」「ひな祭り」「ゆきまつり」について、キーワード、実物などを使って説明する ・グループの補助者が「節分」「ひな祭り」について補足をし、学習者は自分の国の文化、行事について話す ・鬼とお多福のお面を切り取り、豆まきの体験をする	伊藤ゆかり,宇野薫,川添裕子,前嶋義夫,吉田洋子	青島佐希子,大石佳典,大庭唯弘,兼子桂司,西野弘人,藤村克英,茂木眞佐代,山本武志
28	令和2年02月13日(木) 19:00～21:00	2	豊田福祉センター	20	交通ルール(自転車)	①どんな時に自転車に乗るか? ②自転車の交通ルールで初めて知ったことは? ①②をグループで話し合い発表して共有する。 ③スピーチコンテスト出場者のスピーチの練習を聞く	青島純江,大石佳典,加藤恵美,前嶋義夫,吉田洋子	伊藤ゆかり,兼子桂司,藤村克英,茂木眞佐代,リン・チンメイ
29	令和2年02月27日(木) 19:00～21:00	2	豊田福祉センター	11	知りたいことば	仕事や生活の中で聞く、わからないことばをあげ、グループ対話で意味や使い方を話し合い、他のグループとも共有する。	宇野薫,加藤恵美,川添裕子,前嶋義夫,吉田洋子	大石佳典,茂木眞佐代,山本武志
日本語教育の実施内容【西貝教室】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和元年05月12日(日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	10	図書館	磐田市内の図書館を写真やパンフレットで紹介し、グループで自国の図書館との違いやそれぞれの特徴を話す。話したことをひとりずつ発表する。	大場睦子,楠田登志代(謝金無し),鈴木加代子1h,仲田明子,森西尊子	石橋広子,一色尤異,山田紀子
2	令和元年05月19日(日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	6	家事の分担	家事の種類とその言い方を示し、各家庭・各国でそれらを主にするのは誰か話し合い、発表する。	大場睦子1h,鈴木加代子,仲田明子,森西尊子	石橋広子,一色尤異,楠田登志代,鈴木幹夫
3	令和元年05月26日(日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	6	健康について	導入のゲームとして間違い探し(10箇所)のプリントを行い、それから健康についてみんなで話した。	大場睦子1h,楠田登志代(謝金無し),鈴木幹夫(謝金無し),森西尊子	石橋広子,鈴木加代子
4	令和元年06月02日(日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	11	あいづちをうつ	「あいづちをうつ」という事の意味を説明し理解してもらう。 よく使われるあいづちを紹介し、各グループの中で会話のペアを作り、あいづちを入れながら簡単な会話を作る練習。	大場睦子1h,楠田登志代(謝金無し),鈴木加代子1h,仲田明子,森西尊子	石橋広子,一色尤異,鈴木幹夫
5	令和元年06月09日(日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	8	日本語で議論してみよう	海と山について近隣のおすすめスポットを紹介。海チーム、山チームに分かれて良いところ、悪いところをグループで話し合って書き出したあと、チーム同士、意見を戦わせる。ひとりずつ、実際はどちらが好きか、と夏にしたいことを発表。	大場睦子,鈴木加代子1h,鈴木幹夫1h(謝金無し),仲田明子,森西尊子	一色尤異,楠田登志代,山田紀子
6	令和元年06月16日(日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	6	他己紹介	日本人と受講者が二人一組になり、相手の出身地や家族・趣味などを質問したり、相手からの質問に答える。困りごとや相談もする。最後に、全員が相手を紹介するという形で発表する。	大場睦子1h,鈴木加代子,仲田明子,森西尊子	石橋広子,楠田登志代

7	令和元年06月23日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	21	先輩の話を聞こう	以前教室で学習していて、現在正社員で働いている田村ファビアナさんを招き、日本語学習や現在の仕事の話を聞く。グループごとに質問を考えて質疑応答をする。	大場睦子1h, 鈴木加代子1h, 鈴木幹夫(謝金無し), 楠田登志代(謝金無し), 仲田明子, 森西尊子, 田村ファビアナ(外部講師・謝金無し)	石橋広子
8	令和元年07月07日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	13	日本の文化を知る「たなばた」	七夕について説明する。グループに分かれて七夕の内容や自分の国の文化について話したあと、短冊に願い事を書き、全体で各自願い事を発表。	大場睦子1h, 楠田登志代(謝金無し), 鈴木幹夫(謝金無し), 鈴木加代子1h, 仲田明子, 森西尊子	なし
9	令和元年07月14日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	15	BBQの計画1	BBQの活動内容を全体で共有した後、「焼き」「調理」「会場」の3グループに分かれ今年の計画について話し合う。最後にグループごとに発表し、内容を共有する。	大場睦子, 加藤清寿(謝金無し), 鈴木加代子1h, 仲田明子, 森西尊子	石橋広子, 一色尤異, 佐藤元則, 田中琢間, 永岡繁, 永岡春美, 増田美代子, 八木光枝, 山崎伊織(win)
10	令和元年07月21日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	15	BBQの計画2	各グループに分かれる。 ・活動内容の説明(加藤さん) 参加予定者110名。買い物リストに書いた予算にそって材料などの量を決める。また、当日のタイムスケジュールも決める。 ・各グループで買い物リストにそって材料などの量を決める。 当日のタイムスケジュール、持ち物を決める。 ・各グループがそれぞれ発表して、内容を共有する。	大場睦子1h, 加藤清寿(謝金無し), 楠田登志代(謝金無し), 鈴木加代子, 仲田明子, 森西尊子	加藤恵美, 田中琢間
11	令和元年09月01日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	9	西貝交流センター文化祭の参加計画1	文化祭について説明した後、去年の文化祭の内容を詳しく伝えた。前回とほぼ同じ内容で今回も取り組むことになり、歌やスピーチのアイデアを次回の宿題にした。	大場睦子1h, 鈴木加代子1h, 仲田明子, 森西尊子	石橋広子, 鈴木幹夫
12	令和元年09月08日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	12	西貝交流センター文化祭の参加計画2	昨年の文化祭について説明した後、スピーチの内容についてグループで話し、全員で話した内容を共有した。	楠田登志代(謝金無し), 仲田明子, 森西尊子	石橋広子, 大場睦子, 鈴木加代子
13	令和元年09月29日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	11	西貝交流センター文化祭の準備1	日本語スピーチの原稿をつくる。プロジェクターの使用確認をかねて、モデルのスピーチの実施、歌の練習を行った。	大場睦子, 仲田明子, 森西尊子	石橋広子, 楠田登志代, 鈴木加代子, 鈴木幹夫
14	令和元年10月06日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	14	西貝交流センター文化祭の準備2	日本語スピーチの原稿を完成させ、一通り全員発表する。文化祭で歌う歌の練習をする。	楠田登志代(謝金無し), 鈴木加代子, 仲田明子, 森西尊子	一色尤異, 大場睦子, 山田紀子
15	令和元年10月20日 (日)14:00～15:30	1.5	西貝交流センター	20	西貝交流センター文化祭出場者選抜スピーチ大会	学習者は観客(仕事関係者、家族、友人、地域の方)とほかの学習者、スタッフを前に一人ずつスピーチを行い、投票でスピーチ代表を決めた。学習者の1人が事前に各自のスピーチに合わせたイラストや写真の投影資料を用意、スピーチに合わせて上映。司会も学習者が行った。	仲田明子 1.5h(14:00-15:30), 楠田登志代(謝金無し) 1.5h(14:00-15:30))	石橋広子, 一色尤異, 大場睦子, 鈴木加代子, 鈴木ゆみ(Co.), 鈴木幹夫, 森西尊子, 山田紀子(以上8人 全て1.5h(14:00-15:30))

16	令和元年10月27日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	13	西貝交流センター文化祭の準備3	みんなで協力し、色々なことにチャレンジする。日本の文化も知る。文化祭で発表する人は、前回のスピーチ大会で投票によって、ハンドコ・ムラヒ・フリスカ・フェルディアノ、犬塚マイ、ツムラ・タチアナ・みえこに決まり、各自時間内におさまるよう省略したり、文章を直したりした。	仲田明子	大場睦子,川合末男,楠田登志代,鈴木加代子,石橋広子,山田紀子
17	令和元年11月03日 (日)8:30～15:30	7	西貝交流センター	27	西貝地区文化祭参加	①模擬店で手作りの各国の料理の販売と不用品バザー②舞台で日本語スピーチと歌を披露③作品展示(折紙で学習者1名参加)と展示・催し物の見学④餅まき参加	大場睦子 7h(8:30～15:30),楠田登志代(謝金無し) 7h(8:30～15:30),鈴木加代子 6h(8:30～14:30),仲田明子 7h(8:30～15:30),森西尊子 6h(8:30～14:30)	一色尤異,石橋広子,大石佳典,犬塚隆史,鈴木敏記
18	令和元年11月17日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	11	西貝交流センター文化祭の振り返り	文化祭振り返りのワークシートにそって、どんな経験をしたか、どんな感想を持ったか話し合う。最後に各自の感想を発表する。 文化祭に参加はしたが、ごく初級者の三人は、自己紹介と簡単な感想の言い方を練習して発表する	石橋広子(謝金なし),大場睦子1h,鈴木加代子,楠田登志代1h(謝金なし),仲田明子	鈴木幹夫
19	令和元年11月24日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	6	忘年会を楽しもう	グループで①忘年会について話す②忘年会の計画をするの2つを行い、グループごとに発表することで共有する。	平尾利華,松浦祐子(以上2名謝金無し、日本語ボランティア養成講座受講者),仲田明子	石岡千鶴子,大場睦子,川添裕子(Co.),鈴木加代子
20	令和元年12月01日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	5	おいしいもの	お祝い事等行事に何を食べるか、どんな人と食べるかグループで話し、ひとりずつ発表する。	大場睦子1h,楠田登志代(謝金無し),森西尊子	鈴木加代子
21	令和元年12月08日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	10	12月のイベント	1、日本の12月のイベントを知る。 2、自分の国の12月のイベントを話す。 3、来週の会話クラス「年末ゲーム会」の内容を考える。	大場睦子,楠田登志代(謝金無し),鈴木加代子1h,仲田明子	一色尤異
22	令和元年12月15日 (日)14:00～16:00	2	西貝交流センター	13	各国ゲームの紹介・体験	まず、じゃんけん列車をする。 次に、インドネシアのゲーム:スタッコ、ブラジルのゲーム:パスネオ、日本のゲーム:ぼうずめくりをそれぞれの国の人が紹介・説明し、みなで楽しく遊ぶ。	大場睦子1h,楠田登志代(謝金無し),鈴木加代子1h,鈴木幹夫(謝金無し),仲田明子,森西尊子	一色尤異,石橋広子
23	令和2年01月12日(日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	18	病院へ行く①問診表を書く	これまで病院で困ったことをグループで話しあい、ロールプレイを行った。また、問診票の記入も行った。	仲田明子,森西尊子	石岡千鶴子,一色尤異,石橋広子,大場睦子,楠田登志代,鈴木加代子,山田紀子
24	令和2年01月19日(日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	16	病院に行く②診察	過去や現在どんな体の症状があったか、どんな状態の時何科に行けばいいか、ロールプレイをする(学習者が患者役、スタッフが医師役)	楠田登志代(謝金無し),仲田明子,森西尊子	石橋広子,一色尤異,大場睦子,鈴木加代子,鈴木幹夫
25	令和2年01月26日(日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	11	薬	導入で日本での薬の入手方法や薬の種類や内容の話をしてから、それぞれの国の薬の入手方法、病気の対処法などをグループで会話する。そのあと実際の入手方法をやってみる。	大場睦子,楠田登志代(謝金無し),仲田明子,森西尊子	石岡千鶴子,石橋広子,鈴木加代子,鈴木幹夫,田村ファビアナ(通訳謝金無し),山田紀子

26	令和2年02月02日(日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	9	すごろくをしよう	すごろくの遊び方の説明をする 家族・親戚等が集まるときに行うゲームはあるか話をする。 すごろくのマス目(3つ)の文章を各自で考えグループですごろくを完成させてみんなでゲームをしてみる。	大場睦子,楠田登志代(謝金無し),仲田明子,森西尊子	一色尤異,石岡千鶴子,鈴木加代子
27	令和2年02月09日(日) 14:00～16:00	2	西貝交流センター	12	食品の安全 体にいい食べ物・ 悪い食べ物	用意した食品の年月日表示を見て「消費期限」と「賞味期限」に分けてもらう。 消費期限と賞味期限の違いを考える。 各自が手に持った食品について「消費期限」と「賞味期限」の観点から、食べてよいか食べないほうがいいのか発表する。 自分の国の表示との違いを発表する。 体にいい食べ物・悪い食べ物を話し合い発表する。	石橋広子(謝金無し),鈴木加代子,楠田登志代(謝金無し),仲田明子	一色尤異,大場睦子,山田紀子
日本語教育の実施内容【LaLa日本語教室】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和元年05月11日 (土)14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	8	ららぽーと探検	・総合案内所で利用できるサービス(迷子案内、紛失物、ベビーカー・車いす借用、店舗情報、交通アクセス)を質問も交えながら提示。 ・総合案内所を利用する場合の対話例の提示 ・提示されたキーフレーズを参考に1人1つの質問を考えて、書いた後、グループ内で共有をして文章を覚える ・総合案内所で質問する	田中琢間	清水久美子,鈴木昌世,鈴木ゆみ(Co),松浦祐子,村上ナオキ(通訳・謝金有り)
2	令和元年05月25日 (土)14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	8	ポイントカード作り	申込書の書き方の確認と練習。カードデスク担当者に来てもらい、ららぽーとのポイントカードの説明を受けて申込書を記入、カード受け取り。自分たちが所有しているポイントカードについて情報交換。	田中琢間	加茂真里奈,加茂礼子,栗田叔子,鈴木ゆみ(Co),長坂弘文,松浦祐子,村上ナオキ(通訳・謝金有り)
3	令和元年06月08日 (土)14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	4	試着体験	浜松磐田袋井エリアの夏祭り・花火大会の情報を確認。和ごころいんずで着たい浴衣を選び、試着。	田中琢間	清水久美子,鈴木ゆみ(Co),村上ナオキ(通訳・謝金有り),松浦祐子
4	令和元年06月22日 (土)14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	4	イベントに申し込み んでみよう!	磐田国際交流協会の多文化パーベキュー交流会のチラシの内容と一緒に読み取る。 ららぽーと館内にある自分の興味のあるチラシを取り、その情報をキーフレーズシートに書き込む。 イベントの電話申込みの練習。	田中琢間	加茂真里奈,加茂礼子,栗田叔子,鈴木ゆみ(Co),長坂弘文
5	令和元年07月06日 (土)14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	6	注文をしてみよう!	普段外食をするかどうかを尋ね、注文の寸劇を行う。 ららぽーと館内で自分の好きなお店で軽食や飲み物を注文する。	田中琢間	吾澤沙耶,加茂真里奈,鈴木昌世,鈴木ゆみ(Co),長坂弘文,福田由美子,松浦祐子
6	令和元年07月27日 (土)14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	9	買い物上手になろう!	割引きに関する用語を知る。実際のチラシを見ながらどの商品がどれくらい割引されているのか、文章を作る。グループでららぽーと館内を巡り、お得な割引商品を探す。	田中琢間,村上ナオキ	清水久美子,松浦祐子
7	令和元年08月10日 (土)14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	4	バス、タクシーの 利用方法	公共交通機関の利用経験、利用頻度を尋ねる。バス停の時刻表の見方、駅までの行き方を調べる。バス、タクシーを利用する際のキーフレーズを提示し、学習者が使いたい文章を自分で選んでもらう。作成したキーフレーズを基に簡単な対話(ロールプレイ)を行う。	田中琢間	清水久美子,加茂礼子,加茂真里奈
8	令和元年08月24日 (土)14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	1	私の日常	自分の仕事についてグループで話をする。休みの日の過ごし方についてグループで話をする。	田中琢間	加茂真里奈,加茂礼子,鈴木ゆみ(Co),0.5h(14:00～14:30),長坂弘文,福田由美子

9	令和元年09月14日 (土) 14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	4	音楽	LaLaClubルームで音楽の購入方法、店舗でしてみたい質問文を作る。タワーレコードを訪問し、会員登録の説明を受ける。また、できる人は店員に1つ以上質問をする。	田中琢問	加茂礼子,カルドーゾ多美
10	令和元年10月26日 (土) 14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	7	自己紹介	グループ内で自己紹介をする。補助者が席を変えて、新しいグループで質問をし合う。	田中琢問	加茂真里奈,加茂礼子,清水久美子,清水ゆいな
11	令和元年11月09日 (土) 14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	3	ららぽーと探検②	総合案内所で利用できるサービスの確認。グループで質問文を考える。総合案内所で実際に質問をする。館内を巡り、興味のある店を探す。	田中琢問	石岡千鶴子,加藤千晴,加茂真里奈,加茂礼子,川添裕子,坪田淳一,中山緑,中山義治,福田由美子,松浦祐子
12	令和元年11月23日 (土) 14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	3	買い物	買い物のときに困ったこと、どのようにお店の人に伝えたらよいかをグループで話し、「店員とのやりとり」の形で発表する。	石岡千鶴子,坪田淳一,中山義治(以上3人謝金無し:日本語ボランティア養成講座受講者),田中琢問	大庭由奈,加茂礼子,川添裕子,楠田登志代,仲田明子,中山緑
13	令和元年12月14日 (土) 14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	6	注文をしてみよう②	普段外食をするかどうかを尋ね、注文の寸劇を行う。 ららぽーと館内で自分の好きなお店で軽食や飲み物を注文する。	田中琢問	カルドーゾ多美,鈴木ゆみ,澤野孝光,清水久美子,松浦祐子,山下由美子
14	令和元年12月21日 (土) 14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	3	薬局	チラシの情報についてグループで話し合って読み取る。各自持ってきた薬について用法・用量について読み取って話し合う。	田中琢問	相佐百華,加茂真里奈,加茂礼子,澤野孝光,清水久美子,福田由美子
15	令和2年01月25日(土) 14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	6	病院	磐田市立総合病院の職員から、磐田病院への受信についての説明を聞く。グループで経験したことがある症状について話し合う。	田中琢問,藤村克英(謝金無し),外部講師(謝金無し) 磐田市総合病院医事課 吉筋達也,平野晴彦,磐田市総合病院通訳 平田ラリッサ,金谷直美	加茂真里奈,加茂礼子,カルドーゾ多美,清水久美子,清水小百合(総合案内所),鈴木ゆみ(Co.),福田由美子,松浦祐子,村上ナオキ
16	令和2年02月08日(土) 14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	3	バレンタイン	バレンタインの思い出についてグループで話をする。また、バレンタインの予定についてグループで話をする。	田中琢問	福田由美子,松浦祐子,森友紀(総合案内所)
17	令和2年02月22日(土) 14:00～15:30	1.5	ららぽーと 磐田	6	職場・学校のあいさつ	ワークシートを活用して、あいさつの言葉をグループで考える。どのようなあいさつが考えられるか、発表をしてもらう。	田中琢問	川添裕子,栗田叔子,森田はるか(総合案内)

日本語教育の実施内容【竜洋教室】

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和元年05月12日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	14	ゴールデンウィークに何をしましたか？	・自分の行き先やその行動の目的や移動手段を提示 ・グループで夫々の行き先やその行動の目的、移動手段等を話す できる人は紙に書く ・各自発表する	伊藤ゆかり,大石佳典	大橋武一,木村泰子,西川恵子,藤田純子
2	令和元年05月26日 (日) 14:00～17:30	3.5	ヤマハ発動機本社、ヤマハ発動機コミュニケーションプラザ、常林寺	6	教室の外に出かけよう	・ヤマハ発動機ファミリージャンボリーで出店を見学・体験、餅まきに参加 ・コミュニケーションプラザを見学・体験 ・袋井市梅山の常林寺を見学	伊藤ゆかり 3.5h(14:00～17:30)	大石佳典3.5h(14:00～17:30),大橋武一3.5h(14:00～17:30),木村泰子3.5h(14:00～17:30)
3	令和元年06月09日 (日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	12	自己紹介	・夏まつりの概要説明をし、今年も参加するか相談する ・自分の事を話す	伊藤ゆかり	大石佳典,大橋武一,木村泰子,山田典嗣,グエン・ドック・コン(初参加者同行),他市勤務技能実習生(初参加者同行),他市勤務技能実習生(初参加者同行)

4	令和元年06月23日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	8	季節を知ろう	・日本の季節の特徴や行事について説明 ・好きな季節や行事、自分の国の季節の特徴や行事についてグループで話し合い、まとめる	伊藤ゆかり、 山田典嗣	大石佳典、木村泰子、吉岡愛
5	令和元年06月30日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	6	バスの乗り方	・磐田駅からららぽーと磐田まで乗り場の位置やバスの番号とバスの乗車位置などを細かく説明する ・グループで再度乗り方を確認しながら不明な点やわかった事などを話す ・自国のバス事情と比較しグループ内で共有する	大石佳典	大橋武一、木村泰子
6	令和元年07月07日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	3	夏まつりの準備をしよう	・夏まつりの概要を説明する ・手分けしてゲーム(射的・魚釣り)の道具作りと看板作りとパルーンアートの練習をする	伊藤ゆかり	大石佳典、大橋武一、藤田純子、吉岡愛
7	令和元年07月14日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	11	物の数え方	・教室内や建物の中などにある物で数え方を覚える 紙に書く ・気になる物の数え方を聞く 紙に書く ・覚えたものを発表する	伊藤ゆかり、 大石佳典	大橋武一、藤田純子、山田典嗣
8	令和元年07月28日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	7	夏まつりの準備をしよう	・夏まつりの概要を説明する ・ゲームのルールと当日の担当を決める ・手分けしてゲームの景品のラッピングと看板作りとパルーンアートの練習をする	伊藤ゆかり	大石佳典、大橋武一、西川恵子
9	令和元年08月04日 (日)8:00～15:30	7.5	竜洋交流センター	6	竜洋交流センターの夏まつりに参加しよう	会場準備のお手伝い、教室用テント下の準備、パルーンアート作製、ゲーム(射的、魚釣り)の対応、コーヒーの販売、かたづけ	伊藤ゆかり 7.5h(8:00～15:30)	大石佳典 7.5h(8:00～15:30)、大橋武一 5h(10:30～15:30)、木村泰子 7.5h(8:00～15:30)、西川恵子 3.5h(8:30～12:00)、萩原未央 1h(14:30～15:30)、藤田純子 7.5h(8:00～15:30)、山田典嗣 7h(8:30～15:30)、吉岡愛 3.5h(12:00～15:30)
10	令和元年08月18日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	3	夏休みの過ごし方	・進行役の体験を5W1Hで提示 ・参加者はワークシートに補助者の質問に答えるなどして記入する ・それを文章にまとめる	大石佳典	大橋武一、木村泰子、藤田純子、山田典嗣、吉岡愛
11	令和元年08月25日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	5	オノマトペ	・オノマトペとは何か、どんな使い方をするかを例(イラストと単語・文)を提示して説明する ・グループでいろいろなオノマトペを出し合い、理解しているか確認し、各自オノマトペを使って文を作る ・覚えたオノマトペと作った文を発表	伊藤ゆかり	大石佳典、大橋武一、木村泰子、藤田純子
12	令和元年09月01日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	6	好きな料理・食べ物	・テーマ提示では自分の好きな料理・食べ物、そしてその料理の作り方を話し、その中で出てきた「混ぜる」「すりおろす」「流し込む」などの調理用語も説明 ・グループで好きな料理・食べ物、料理の作り方を話し、その後発表	伊藤ゆかり	大橋武一、木村泰子、藤田純子、山田典嗣
13	令和元年09月08日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	8	旅行	テーマ提示で日本の中で行きたい所、行って良かった所について話す 高さ〇〇〇mの言い方、青春18切符についても説明 グループで各自話し、その後発表	伊藤ゆかり	大石佳典、大橋武一、木村泰子、藤田純子
14	令和元年09月22日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	1	わたしの食事	・ある1日の朝食、昼食、夕食のメニューと食材を紹介 ・受講者のある1日の朝食、昼食、夕食のメニューと食材を皆に話してもらう	伊藤ゆかり、 大石佳典(謝金無し)	大橋武一、木村泰子

15	令和元年10月06日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	11	秋の楽しみ	日本のそれぞれの四季が何月かを説明し、10月の地区の祭典、紅葉の有名な観光地、秋の食べ物などを紹介 グループで日本の秋の行事・観光地・食べ物などについて情報交換をし、自分はどうなことをしたいか話す	伊藤ゆかり	川添裕子(Go.),木村泰子,藤田純子,渡瀬孝代(日本語ボランティア養成講座受講者)
16	令和元年10月20日 (日)12:00～17:00	5	竜洋交流センター	16	抹茶と着物の体験	2つのグループに分かれて、「抹茶を飲む・点てる」と「着物を着る」を体験する	伊藤ゆかり 4.5h(12:30～17:00),匂坂正代(着物着付け講師・謝金無し) 4.5h(12:00～16:30),鈴木直子(抹茶お点前講師・謝金無し) 4.5h(12:00～16:30)	大石佳典3h(13:45～17:00),大橋武一2h(14:00～16:00),木村泰子4.5h(12:00～16:30),藤田純子3h(14:00～17:00)
17	令和元年10月27日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	5	日本料理	①どんな日本料理を食べましたか？ ②好きな料理 理由？ 嫌いな料理 理由？ ①、②、について話した後、日本料理教室で作りたい料理を考える	伊藤ゆかり,大石佳典	大橋武一,木村泰子,藤田純子
18	令和元年11月10日 (日)12:30～17:00	4.5	竜洋交流センター	5	日本料理教室	3つのグループに分かれて、「豚汁」と「お好み焼き」を調理 食事をしながら歓談 感想を発表後、片付け	伊藤ゆかり 4.5h(12:30～17:00)	大石佳典3h(14:00～17:00),大橋武一3.5h(13:00～16:30),木村泰子4h(13:00～17:00),藤田純子4.5h(12:30～17:00),山田典嗣4h(13:00～17:00)
19	令和元年11月17日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	14	台風が来たら	10月の台風の時の様子や困ったこと、自分の国での台風対策をグループで話した後、グループごとに全員発表。ペア対話を行い、学習確認シートに学んだことをまとめる。	伊藤ゆかり, (以下2人謝金無し:日本語ボランティア養成講座受講者)石川智久,藤村克英	大石佳典,大橋武一,川添裕子(Go.),木村泰子
20	令和元年12月01日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	4	避難所	日本で起きる災害と被災した時に行く避難所について説明 指定避難所一覧より自分の避難所を確認する 災害時の対応、避難場所、避難所、自国での災害時についてなどを話す	伊藤ゆかり	大石佳典,大橋武一,藤田純子,山田典嗣
21	令和元年12月08日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	3	自分のことを話しましょう	・名前、国、・・・仕事、趣味などを提示 ・夫々自分のことを話す(補助者は参加者が多く話せるように補助する)	伊藤ゆかり,大石佳典	木村泰子,藤田純子
22	令和01年12月15日 (日)14:00～16:00	2	竜洋交流センター	1	わたしの冬休み	・最近3年間の冬休みの過ごし方について説明 ・自分の冬休みについて、自分の国の年末年始の行事についてグループで話し合い、まとめる	伊藤ゆかり,山田典嗣(協会事業払)	王藝,大橋武一
23	令和2年01月20日(日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	4	年末年始のことを話そう！	・テーマの提示で年末年始の期間を確認、何をしたらイラストで説明する ・グループで年末年始について対話をし、発表する。	伊藤ゆかり,大石佳典	大橋武一,藤田純子
24	令和2年02月02日(日) 14:00～16:00	2	竜洋交流センター	6	わたしのオススメ	・おすすめの場所・食べ物・イベントなど、様々なジャンルから説明 ・グループごとにおすすめについて紹介しあい、まとめる	山田典嗣	大橋武一,木村泰子,栗田叔子,山本武志,吉岡愛

25	令和2年02月09日(日) 14:00~16:00	2	竜洋交流センター	5	私の国の料理	テーマ提示時に3月15日の料理交流会について説明し、日本料理を提示、お好み焼きの作り方を説明(調理用語の切る・混ぜる・流し込むなども説明)グループで自分の国の料理について話をし、料理交流会で作りたい料理の作り方を話しながら書く	伊藤ゆかり	遠藤康彦、大橋武一、木村泰子、藤田純子
日本語教育の実施内容【ワークピア磐田】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和元年05月19日 (日)14:00~16:00	2	ワークピア磐田	17	A. 買い物 B. 歯医者	A. ①買い物のときに使う便利な表現を紹介。対話では買い物で困った経験をシェアし、対応の仕方を学んだ。 ②ホワイトシートをもとに全体で共有する。 B. 自分の症状を伝えるフレーズを決め、受付と受診を体験する	伊藤眞智子、大村新一郎、岸本洋充、鈴木ゆみ、海山綾子、渥美哲昭(外部講師謝金無し・あつみ歯科)	足立進一郎、渥美久美子、石川淳子、氏原初美、川添裕子、川本啓、内藤金夫、福田由美子、村岡ジョルジ(通訳・謝金無し)、茂木昭次
2	令和元年05月26日 (日)A. 14:00~16:00、 B. 12:00~13:30(日本生活クラス)	A. 2.0時間、 B. 1.5時間	A. ワークピア磐田、 B. 豊田支所	21	A. うれしかったこと、楽しかったこと B. 交流会参加	A. ①うれしかったこと、楽しかったことをグループで話し合い、感情を伝える表現を学ぶ。 ②自分の経験を発表し、全体で共有。 B. 磐田国際交流協会の会員交流会に参加し、同じグループの人と話をしたり、ゲームやクイズに参加して地域の日本人や外国人と交流した。	伊藤眞智子、大村新一郎、川本啓、鈴木ゆみ1.5h、茂木昭次、海山綾子	足立進一郎、渥美久美子、氏原初美、川添裕子、澤田和歌子、内藤金夫、村岡ジョルジ(通訳・謝金無し)
3	令和元年06月09日 (日)14:00~16:00	2	ワークピア磐田	23	A. いつもすること B. 職場の会話Part1	A. ①グループ内でいつもする、休みの日にする、疲れた時、ひとりになった時などに行うことを対話し、補助者が対話内容をホワイトシートに記入する。 ②ホワイトシートをもとに全体で共有する。 B. 前半、職場での人間関係を良好にするための会話として、グループ内でお互いにいいところを見つけてほめ合った。後半は、静岡県国際交流協会の加山さんから「正社員と派遣の違い」と正社員になるための支援について説明があり質疑応答をした。	伊藤眞智子、氏原初美、大村新一郎、澤田和歌子、鈴木ゆみ、海山綾子、加山勤子(外部講師謝金無し・(公財)静岡県国際交流協会)、鈴木武寿(外部講師謝金無し・(公財)静岡県国際交流協会)	足立進一郎、石川淳子、川本啓、川添裕子、岸本洋充、立花チアゴ・ミツオ(通訳・謝金無し)、内藤金夫、福田由美子、村岡ジョルジ(通訳・謝金無し)、茂木昭次
4	令和元年06月16日 (日)14:00~16:00	2	ワークピア磐田	24	A. 私の出身地 B. 職場の会話Part2「はじめまして」	A. ①自分の出身地の特徴、有名なもの、食べ物についてグループで話す。 ②みんなの前で発表し、話題を共有。 B. レベルに合わせたキーフレーズを参考に、グループ内でお互いに初対面のあいさつをし、自分のあいさつの言葉をキーフレーズシートに書く。補助者がグループを移動し、グループ対話を繰り返す。活動の成果として、初対面の人に協力してもらい、はじめましてのあいさつを交わした。	伊藤眞智子、大村新一郎、岸本洋充、鈴木ゆみ、茂木昭次	足立進一郎、渥美久美子、氏原初美、川添裕子、川本啓、澤田和歌子、立花チアゴ・ミツオ(通訳・謝金無し)、袴田千里(通訳・謝金無し)、村岡ジョルジ(通訳・謝金無し)、村山久代
5	令和元年06月23日 (日)A. 14:00~16:00、 B. 9:00~11:00(日本生活クラス)	2	A. ワークピア磐田、 B. 豊田天竜川グラウンド	23	A. 雨の日に何をしますか B. 水防演習参加	A. ①雨の日の過ごし方、工夫・注意していることをグループで話し合う。 ②雨の日の自分の習慣や経験を発表し、話題を共有。 B. 8時にワークピア磐田に集合し、会場の豊田天竜川グラウンドへ移動。整列して開会式に参加。その後、男性は簡易水防工法、女性は緊急炊き出し訓練に参加し、消防や赤十字奉仕団の方にやり方を教わりながら体験した。土嚢ごしらえ、シート張り工、河川敷に残された車両からのはしご車による救出訓練等を見学し、閉会式に参加した。	伊藤眞智子、大村新一郎、川本啓、澤田和歌子、鈴木ゆみ、茂木昭次	足立進一郎、石川淳子、氏原初美、川添裕子、岸本洋充、立花チアゴ・ミツオ(通訳・謝金無し)、内藤金夫、村岡ジョルジ(通訳・謝金無し)

6	令和元年06月30日 (日)14:00~16:00	2	A. ワークピ ア磐田 B. 渥美歯科 医院	19	A. 私の趣味 B. 歯医者受診体 験	A. ①グループ内で自分の趣味とその内 容や理由、目的などを対話し、補助者 が対話内容をホワイトシートに記入す る。 ②ホワイトシートをもとに全体で共有す る。 B. 歯科医院を訪問し、一人ずつ受付の やりとりをして、各自問診票の記入をし たあと、学習者が一人代表で受診しても らい、その様子を見学しながら医師の指 示の言葉とその意味について学んだ	伊藤眞智子、 氏原初美、岡 本寿巳、鈴 木ゆみ、海山 綾子、渥美哲 昭(外部講師 謝金無し・あ つみ歯科)	足立進一郎、渥美久美子、川添裕 子、川本啓、内藤金夫、村山久代、袴 田千里(通訳・謝金無し)
7	令和元年07月07日 (日)14:00~16:00	2	ワークピア 磐田	22	A. 私の家族 B. 物の数え方	A. ①自分の家族についてグループで 話し、補助者が対話内容をホワイトシー トに記入する。 ②ホワイトシートをもとに全体で共有す る。 B. 数えたい物の名前を書き出す。助数 詞別に分類し、その特徴を話し合う。	伊藤眞智子、 岸本洋充、澤 田和歌子、鈴 木ゆみ、海山 綾子	足立進一郎、渥美久美子、石川淳 子、氏原初美、大橋直治、川添裕子、 川本啓、立花チアゴ・ミツオ(通訳)、 内藤金夫、袴田千里(通訳・謝金 無し)、茂木昭次、山本武志
8	令和元年07月14日 (日)14:00~16:00	2	ワークピア 磐田	20	A. プレゼント B. 給与明細	A. ①「もらう、あげる」を進行役と学習者 で実演し、あげもらいの表現にふれた 後、もらったりあげたりしたプレゼントに ついてグループで話す。 ②発表して話題を共有。 B. 給与明細に書いてある内容の説明と 計算の仕方を聞き、自分の給与明細を 確認する。	伊藤眞智子、 川本啓、澤田 和歌子、鈴木 ゆみ、茂木眞 佐代(外部講 師謝金無し・ 一般社団法 人磐田国際 交流協会)、 海山綾子	足立進一郎、石川淳子、氏原初美、 大橋直治、川添裕子、立花チアゴ・ ミツオ(通訳・謝金無し)、内藤金 夫、袴田千里(通訳・謝金無し)、丸 井祐香、茂木昭次、山本武志
9	令和元年08月04日 (日)14:00~16:00	2	ワークピア 磐田	16	A. 夏休みに何をし ますか B. 料理	A. ①グループ内で夏休みの日付や夏 休みに何をするかを対話し、補助者が 対話内容をホワイトシートに記入する。 ②ホワイトシートをもとに全体で共有す る。 B. 買い物する場所の共有。好きな料理 の紹介をする。作ってみたい日本料理 について調べる。	伊藤眞智子、 氏原初美、大 村新一郎、澤 田和歌子、田 中琢間、茂木 昭次	足立進一郎、渥美久美子、宇野薫、 兼子桂司、岸本洋充、川本啓、立花 チアゴ・ミツオ(通訳・謝金無し)、 内藤金夫
10	令和元年08月18日 (日)14:00~16:00	2	ワークピア 磐田	8	夏休みに何をしま したか	①夏休みに何をしたか、どんな感想を もったかをグループで話す。 ②1対1のペアで話す。 ③グループ対話、ペア対話の内容につ いて発表する。	市川久美、川 本啓、海山綾 子	足立進一郎、兼子桂司、岸本洋充、 内藤金夫、丸井祐香
11	令和元年08月25日 (日)14:00~16:00	2	A. ワークピ ア磐田 B. 消防署	14	A. 暑い時どうしま すか？ B. 消防署(緊急時 の対応)	A. ①自分の国の「暑いときの対処法」を グループで話す。 ②みんなの前で発表し、共有する。 ③日本語スピーチコンテストに出場する 学習者のスピーチを聞く。 B. 消防署を訪問し、119番通報訓練、 心肺蘇生法とAEDの使い方、防火衣の 試着体験、消防・救急車両乗車体験、 水消火器の使い方を教わり体験した。	伊藤眞智子、 岸本洋充、坂 野文彦(外部 講師謝金無 し・磐田市消 防署第2防 火指導グル ープ主 任)、澤田和 歌子、鈴木ゆ み	足立進一郎、石川智久、氏原初美、 川添裕子、立花チアゴ・ミツオ(通 訳・謝金無し)、内藤金夫
12	令和元年09月22日 (日)14:00~16:00	2	ワークピア 磐田	18	A. 秋を楽しもう B. 交通ルール	A. ①秋にしたいこと(食べたいもの、行 きたいところなど)をグループで話す。② みんなの前で発表し意見交換。 B. 日本の交通ルール(標識、違反の多 いものや反則金、自転車のルール)に ついて交通安全推進員の話聞き、質 疑応答をした後、ブラジルと日本の交 通ルールの違いをグループで話し、共有。 ペアで自由対話も行う。	伊藤眞智子、 川添裕子、岸 本洋充、澤田 和歌子、伊藤 哲宏(外部講師 謝金無し・磐 田市自治市 民部地域づ くり応援課 嘱託 防犯・ 交通安全推 進員)	氏原初美、兼子桂司、川本啓、栗田 叔子、栗田明(日本語ボランティア 養成講座受講者)、鈴木ゆみ(Co.)、 立花チアゴ・ミツオ(通訳・謝金無 し)、内藤金夫、袴田千里(通訳・謝 金無し)、村山久代、山本武志
13	令和元年09月29日 (日)14:00~16:00	2	ワークピア 磐田	19	私の国では	①グループ内で出身国の生活習慣や日 本との比較を対話し、補助者が対話内 容をホワイトシートに記入する。 ②ホワイトシートをもとに全体で共有す る。	伊藤眞智子、 氏原初美、澤 田和歌子、茂 木昭次、海山 綾子	足立進一郎、渥美久美子、岸本洋 充、川添裕子(Co.)、川本啓、兼子桂 司、内藤金夫、(以下日本語ボラン ティア養成講座受講者)石岡千鶴 子、石川智久、鈴木干葉、藤村克英

14	令和元年10月13日 (日)14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	4	A. 交通 B. 台風は大丈夫 でしたか	A. ①日本での交通機関の利用、交通 標識で困ったことや自国の交通事情に ついてグループで話す。 ②発表して話題を共有する。 B. 昨日の台風について、「大丈夫でし たか？」というやりとりをし、どんな備え をしたか、みんなで共有する。	伊藤眞智子, 川本啓,鈴木 ゆみ	足立進一郎,氏原初美,川添裕子, 岸本洋充,立花チアゴ・ミツオ(通 訳),内藤金夫,袴田千里(通訳・謝 金無し),福田由美子,(以下ボラン ティア養成講座生)石川智久,猪 多由菜,鈴木干菜,高田正人,松浦 祐子
15	令和元年10月20日 (日)14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	14	A. スポーツを楽し もう B. 仕事のコミュニ ケーション	A. ①好きなスポーツ、やりたいスポー ツ、国の伝統的なスポーツなどの切り口 でグループで対話する。 ②発表して話題を共有する。 B. 仕事のときのあいさつ、仕事で使う 日本語で知りたいことばをポルトガル語 であげ、日本語で何と言うかをグループ 活動で確認。他の人にも伝えたいフレー ズは各自発表してもらい、全員で共有 する。	伊藤眞智子, 川添裕子,岸 本洋充,澤田 和歌子,海山 綾子	足立進一郎,氏原初美,秋山ヒデキ (通訳・謝金無し),石川淳子,石川 智久,川本啓,村山久代
16	令和元年10月27日 (日)14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	9	A. 食べ物 B. 病院(磐田市総 合病院)	A. ①グループ内で個人の食べ物の嗜 好や出身国と日本の食文化の対話を し、補助者が対話内容をホワイトシート に記入する。 ②ホワイトシートをもとに全体で共有す る。 B. 磐田病院の紹介と病院に関する簡 単な日本語をおさえた後、病院の方の 講話「磐田病院のかかり方、救急につ いて、医療費について」をお聞きし、質 疑応答をして学習者の疑問を解消した。	氏原初美,澤 田和歌子,鈴 木ゆみ,海山 綾子,(以下2 人謝金無し: 外部講師 磐田市総合 病院医事課) 吉筋達也,平 野晴彦,(以 下2人謝金 無し:外部講 師 磐田市 総合病院通 訳)平田ラ リッサ,金谷 直美	足立進一郎,大村新一郎,川添裕 子,立花チアゴ・ミツオ,内藤金夫, 山本武志
17	令和元年11月03日 (日)14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	10	A. 対話クラスで学 びたいテーマを考 えよう B. 携帯	A. ①「対話クラスでとりあげて欲しい テーマ」「対話クラスに望むこと」をグ ループで話し合う。 ②グループごと発表してクラスへの希望 を共有した。 B. キーフレーズを参考に、自分の携帯 の使い方について対話をした後、携帯 ショップのスタッフの方に、国際通話、携 帯料金の仕組み、契約に必要な物の説 明をしてもらい、質疑応答をして理解を 深めた	岸本洋充,鈴 木ゆみ,(以 下3人 外部 講師・謝金無 し ヤマハ発 動機ビズ パートナー 株式会社モ バイル通信 営業部)杉浦 ゆみ子,村上 ナオキ,福田 直子	秋山ヒデキ(通訳・謝金無し),足 立進一郎,石川智久,氏原初美,大 村新一郎,兼子桂司,内藤金夫,山 本武志
18	令和元年11月17日 (日)A. 14:00～16:00, B. 14:00～16:30(日本 生活クラス)	A. 2.0時 間, B. 2.5時 間	A. ワークピ ア磐田 B. スー パー、ドラッ グストア	18	A. 日本の文化ー 私の見た日本 B. 買い物	A. 母国と日本との習慣や気候の違い、 日本でふれたい文化についてグループ で話したあと発表。 B. 「よくいくお店はどこか」「ポイントカ ードを持っているか」を確認する対話活動 をし、「ポイントカードを作りたいんです が」のフレーズと、申し込み用紙に書く 情報(氏名、生年月日、性別、住所、電 話番号)について漢字と意味、書く内容 を押さえた後、実際にスーパーとドラッ グストアへ行きポイントカードを作った。	伊藤眞智子, 川本啓,澤田 和歌子,鈴木 ゆみ 2.5h(14:00- 14:30);海山 綾子	足立進一郎,渥美久美子 2.5h(14:00-14:30),大村新一郎,兼 子桂司,岸本洋充
19	令和元年12月01日 (日)14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	14	A. 年賀状を書こう B. 日本人と友達に なる	A. ①年賀状の意味や書き方を説明し、 グループ内で送る相手や何を書くかを 対話しながら、年賀状を書く。 ②作成した年賀状を全体で共有する。 B. 自分の趣味を書き出した後、個々の 趣味について補助者が質問をして詳しく 話せるようにワークシートに記入し、一 人ずつ発表をした。	氏原初美,大 村新一郎,鈴 木ゆみ,海山 綾子	足立進一郎,石川智久,川本啓,岸 本洋充,澤野孝光,内藤金夫,中山 緑,袴田千里(通訳・謝金無し),藤 村克英,松浦祐子,山本武志

20	令和元年12月08日 (日)14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	11	A. 今年のニュース B. 自己紹介	A. ①今年、自分や自分の周りに起きたニュースについてグループで話す。 ②ひとりずつ発表。 B. 自己紹介を提示。初めは2～3人で自己紹介をして話すことを引き出し、その後5～7人のグループ内で対話した。ワークシートに自己紹介の内容を書き出し、それを持って立ち歩いて話す相手を探し、ペア対話を4～5回行った。次に、前回要望が多かった「日付の言い方」についてプリントを配付し、グループで確認した。学習確認シートと学習記録で学びの確認をした後、輪になって座り、今日の感想を一人ずつ話し振り返りを行った。	伊藤眞智子、岸本洋充、澤田和歌子、鈴木ゆみ、海山綾子	足立進一郎、石川淳子、石川智久、川添裕子、川本啓、澤野孝光、鈴木英理、立花チアゴ・ミツオ(通訳・謝金無し)、坪田淳一、松浦祐子
21	令和01年12月22日 (日)14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	15	A. 年末年始の過ごし方 B. ポイントカードの使い方	A. ①年末年始の自分の予定や自国の習慣についてグループで話す。 ②ひとりずつ発表。 B. よく行く店や、その店で使えるポイントカードについて話す。その後、ポイントのお得なため方、使い方やポイント還元についての情報提供をする。	川添裕子、川本啓、澤田和歌子	足立進一郎、石岡千鶴子、石川智久、氏原初美、岸本洋充、澤野孝光、内藤金夫、袴田千里(通訳・謝金無し)、福田由美子、藤村克英、松浦祐子、村山久代
22	令和2年01月12日(日) 14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	16	A. 冬休みに何をしましたか B. ものの数え方	A. ①グループ内で冬休みに何をしたかを対話する。 ②グループで話したことを全体で共有する。 B. 日本語ではものの数え方がいろいろあることを提示、自分が数え方を知りたいものを各自挙げ、グループワークで話しながら助数詞ごとに分類する。話したことを発表し共有。	氏原初美、川添裕子、澤田和歌子、海山綾子	足立進一郎、石川智久、川本啓、澤野孝光、鈴木昌世、鈴木ゆみ、坪田淳一、内藤金夫、福田由美子、松浦祐子、山本武志、秋山ヒデキ1h(通訳・謝金無し、14:00-15:00)
23	令和2年01月19日(日) 14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	19	A. 今年何をしたいですか？ B. オノマトペ	A. ①グループ内で今年の希望や目標について対話する。 ②グループで話したことを全体で共有する。(質問タイムを設ける) B. アイスブレイクで動物の鳴きまねクイズをし、音で表すオノマトペを紹介。グループワークでは体に関するオノマトペをいろいろ話し合ってもらい、自分が気に入ったオノマトペを発表してもらった。	大村新一郎、岸本洋充、澤田和歌子、鈴木昌世、海山綾子	足立進一郎、石川智久、氏原初美、川添裕子、川本啓、澤野孝光、坪田淳一、内藤金夫、福田由美子、藤村克英、松浦祐子、村山久代
24	令和2年01月26日(日) 14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	13	A. 病気です。どうしますか B. 日付、時間の言い方	A. ①2～3人のペアで病気をした時の経験や習慣について対話した。 ②話したことを全体で共有する。 B. 日付…①誕生日②日本に来た日③自己紹介で話したいことをグループで話し、一人ずつ発表。時間…昨日から今日にかけてしたことを、その時間とともに話し、発表する。	伊藤眞智子、川添裕子、川本啓、澤田和歌子	足立進一郎、石川智久、氏原初美、澤野孝光、鈴木ゆみ、内藤金夫、中村小十郎、深川美由紀(通訳・謝金有り)、藤村克英、松浦祐子、村山久代
25	令和2年02月02日(日) 14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	10	A. よく行くお店 B. バレンタイン	A. ①グループ内で自分のよく行くお店について対話する。 ②グループで話したことを全体で共有する。 B. ①バレンタインの思い出についてグループで話をして、1人が代表で発表。 ②バレンタインの予定についてグループで話をして、1人が代表で発表。	岸本洋充、澤田和歌子、田中琢間、海山綾子	足立進一郎、石川智久、遠藤康彦、兼子桂司、川添裕子、川本啓、坪田淳一、内藤金夫、中村小十郎、松浦祐子、村山久代
26	令和2年02月09日(日) 14:00～16:00	2	ワークピア 磐田	14	A. 私の一日 B. 私の勉強法	A. ①グループ内で日常生活の習慣や余暇の過ごし方について対話する。 ②話したことを全体で共有する。 B. 個人で自分の勉強法についてワークシートに記入したあと、グループで話す。「おすすめ～は～です」を使って発表したあと、勉強法以外のおすすめについても発表。	川本啓、澤田和歌子、鈴木昌世、海山綾子	足立進一郎、石川智久、氏原初美、川添裕子、澤野孝光、内藤金夫、中村小十郎、藤村克英、松浦祐子

27	令和2年02月23日(日) 14:00~16:00	2	ワークピア 磐田	36	A. 冬の食べ物 B. わたしの出身地	A. ①グループ内で冬の食べ物について対話をする。 ②グループで話したことを全体で共有する。 B. 自分の出身地について、ワークシートに沿ってグループで対話。ひとりずつワークシートや写真を見せながら発表。 足立進一郎、伊藤眞智子、氏原初美、澤田和歌子、澤野孝光(謝金無し)、鈴木ゆみ	石川智久、川添裕子、川本啓、岸本洋充、内藤金夫、中村小十郎、藤村克英、松浦祐子
----	------------------------------	---	-------------	----	------------------------	--	---

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【LaLa日本語教室 第1回 令和元年5月11日】

＜テーマとねらい＞

「ららぽーと探検」 総合案内所で何ができるかを理解する。知りたいことを質問できるようになる。

＜進行役＞1人

＜補助者＞5人

＜受講者＞8人(ブラジル7人、ベトナム1人)

＜協力者＞ららぽーと磐田 総合案内所

＜使用教材＞

学習確認シート、活動シート、キーフレーズシート、学習記録、ホワイトボード(小)3枚、ホワイトボードマーカー、提示用キーワード/イラスト、バインダー(大10、小20)、マグネット、えんぴつ

＜活動内容＞

1) テーマ提示

2) 自己紹介ゲーム

3) 提示「ららぽーと探検」

4) スキット

5) キーフレーズシート記入、グループ対話

6) 総合案内所で質問

7) 振り返り

8) ペア対話

9) 学習確認シート記入

＜学習者の様子＞

・第一回の実施だったため、教室全体に多少の緊張を感じたが、活動が進むにつれて和やかな雰囲気になっていった。

・唯一のベトナム人参加者のターさんは、補助者の松浦さんと同じく外国で出産、子育てをしたという立場が似ていたため、良いつながりができた。

・グループ③の参加者3名とも日本に来てからの日が浅く、村上さんに通訳を入れてもらいながら活動を楽しんだ。総合案内所で質問する時も移動中に文章を復唱していた。

・タマラさんマユミさんは教室内でも日本語で話す力があるため、より詳しい内容で質問をするように取り組んだ。カードのポイント残高の「残高」という言葉が聞き覚えがなかったようで、新しい言葉はすべてメモしていた。

・ホドリゴさんは総合案内所で財布を無くしたと伝えたときに、「色、場所、入っていた金額」などについても聞かれ、ポルトガル語の通訳がなければ受け答えが難しかった。

＜内容・進行の反省点＞

・14時にスタート予定であったが受講者個票を記入する時間が必要だったため、スタートが5分以上遅れてしまった。少しスタートに余裕を持った進行表を作成する必要がある。

・移動時間を進行表に考慮していなかったため、あまり余裕のないスケジュールとなってしまった。

・全体的に早めに進行をしたので十分な時間が取れなかった活動が多かった。次回は全体の振り返り時間で学習者の感想を直接聞く時間を確保する。

・すでに総合案内を利用したことがある学習者に対する活動内容について、補助者に指示をほとんどしておらず、まかせっきりになってしまった。

＜ねらいが達成できたか＞

①の総合案内所でなにができるかという狙いは導入の際に全体で確認をしたため、ほとんど達成できた。特にパトリシアさん、ダニエルさん、アリソンさんは活動前は0に丸がついていたが、活動後は8、10に丸がついていた。ターさんも初めて総合案内所を利用したので、日常生活で利用するショッピングモールをより活用できるようになる良い機会になったと思われる。

②の「知りたいことを質問ができるようになる」に関しては、総合案内所で最初の声掛けの仕方や知りたいことについて尋ねてみることは案内所の質問の様子を見てできていた。ただし、その後の「お色は？」「無くされた場所は？」などの詳細を聞かれたときに、普段聞きなれない丁寧な表現も相まって言い直しや通訳が必要な参加者が多かった。そのため、学習確認シートでも、活動前と後で数字が変わらない参加者が多かった。

＜その他所感＞

・今回は日本語レベルに近い参加者同士のグループが組めたため、スムーズに進めることができた。

・持ち帰れる資料等や子供向けのプリントを用意しておけば、より楽しい、満足のいく教室になっていくと思う。



○取組事例②

【ワークピア教室 第11回 令和元年8月25日 日本生活スタートクラス】

＜テーマとねらい＞

「消防署(緊急時の対応)」 ①救急車の呼び方がわかる。②AEDの使い方がわかる。③消火器の使い方がわかる。

＜進行役＞1人

＜補助者＞2人

＜受講者＞7人(ブラジル7人)

＜外部講師＞1人(磐田市消防署第2防火指導グループ主任)

＜使用教材＞

個人ファイル(学習記録・名札)、活動進行表、今日の目標、学習確認シート、キーワード、ワークピア教室カレンダー、広報いわたポルトガル語版8月号、カメラ

＜活動内容＞

(14:00ワークピア磐田1Fエントランスに集合)

1)今日のテーマ、目標提示、自己評価、学習記録、配布物(移動)

2)自己紹介

3)講師の話

①119番通報訓練(救急、火災)

②心肺蘇生法とAEDの使い方

③防火衣の試着体験

④消防・救急車両乗車体験

⑤水消火器の使い方

4)お知らせ

＜参加者の様子＞

・積極的に質問をしていた。

・マツさんはムエタイの先生で、ムエタイではケガをすることがあるため救急法を学びたいとのことで夫婦で参加された。日本語はよくできる。

・スザナさんは友達とひらがな、カタカナ、簡単な漢字を勉強していると話していて、今回も学習記録をひらがなで書いたり、シナリオの意味をメモしたり、119番通報をしたりと大変積極的だった。

・アクツさんとジュリアニさんは、自己評価が毎回、比較的低め。

＜内容・進行の反省点＞

・通報訓練は、消防で依頼・調整してくれたので行き違いもなくスムーズに行えてよかったが、スマホではなくお借りした携帯からかけたため、消防指令センターの職員の声をみんなで聞くことができなかったのは残念だった。

・日本語の学びという点で、もう少し工夫ができたと思う。参加者の確保に意識がいき丁寧な準備を怠ってしまった。

・通訳者には、事前にできるだけ情報を渡しておいた方がよいと反省した。

＜ねらいが達成できたか＞

・全員、自己評価は活動前よりあがっていた。心肺蘇生法や消火器など体験したものはよく理解できた様子だった。

・AEDの使い方は、機械から流れる音声日本語だけの指示である上、今回は時間がなくて全員は体験できなかったもので自力で使えるかはわからないが、周りの人に助けを求めることは全員できそうだ。

・通報訓練は、シナリオに沿ってやったので問題はなかったが、実際には指令センターの職員一人ひとり使うことばが違う等不確定要素がいろいろあるので難しいと思われる。



(2) 目標の達成状況・成果

【生活課題解決・キャリアアップ・参加者相互理解について】
日本生活クラス、一部対話クラスでは、毎回の学習目標(Can-do)に対して自分がどのくらいできるのかを活動前後に数値で自己評価し、達成度をはかった。学習者によって差はあるものの、活動前より後の方が自己評価が上がる事が多く、毎回の活動で得るものがあつたことがうかがえた。生活課題に関わるテーマも多く取り入れたことから、その解決に寄与できたのではないかと。キャリアアップ促進についてはワークピア教室日本生活クラスの活動で外部講師より正社員と派遣の違いなどについて講話があり、正社員という働き方があることや、日本語学習の必要性について理解が進んだ。いろいろなテーマで対話活動を行うことで参加者相互理解も進んだ。

【エンパワメントと社会参加について】
エンパワメントについては、日本語会話がよくなる学習者に補助者の役割を任せたり、スピーチコンテストへの参加を促したりすることで、自信を持ち、活動参加への意欲が上がる事が活動への参加頻度が増えたことから判断できる。

社会参加については、水防演習、防災訓練、地域のイベントなどに毎年参加を続けることで、地域の側から声をかけてもらうようになり、外国人の参加を期待されるような雰囲気になってきている。

教室活動に関わった方たちから感想を聞くと、外国人との関わり方について様々な気づきがあることがわかり、外部講師を呼んだり、地域の活動に出ていくなどして様々な人に関わってもらうことで地域の多文化理解を深め、外国人が社会参加しやすい雰囲気になることが期待される。

(3) 今後の改善点について

- ・参加継続が難しい学習者がいる。日本語初級レベルの学習者には、学習者と日本人スタッフをつなぐような役割の外国人スタッフが必要。また、仕事の関係で継続が難しい場合には企業との連携も考えなければならない。
- ・日本語教室の更なる周知。転入者には外国人情報窓口で知らせてもらうことができるが、長く住んでいる人へのアプローチが難しい。学習者等からSNSでつながってもらうなどの工夫が必要。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施【活動の名称：A. 日本語ボランティア養成講座、B. 地域つながり方デザイン講座】			
目的・目標	A. 対話活動のプログラムを作成して進行する人材と、対話の相手となる補助者を養成し日本語支援者を増やす。 B. 行動体験活動をデザインし、連携・協力者と調整して実施できる人材を養成する。		
内容の詳細	【A. 日本語ボランティア養成講座】(1回2.5時間×8回、1回3時間×1回) 地域の多文化共生と日本語教育について講義と実践を交えて学んだ。地域日本語教室での対話活動の実践を組合せ、全9回コースで実施した。 ●磐田市の外国人の現状、地域の多文化共生と日本語ボランティアの役割について、見学や講義、ワークショップを通して学ぶ。 第1回 教室見学・オリエンテーション 第2回 地域の多文化共生 第3回 地域日本語教室のあり方と日本語ボランティアの役割 ●教室活動のため身につけたいスキルや活動の作り方を学び、実際の教室で進行役・補助者として実践を行う。 第4回 コミュニケーションスキル 第5回 実践1(対話活動補助者の体験) 第6回 活動計画の立て方 第7回 活動計画を立てる 第8回 実践2(対話活動進行役の体験) ●講座全体や自身の生活をふりかえり、今後の教室活動への関わり方を考え、ボランティア登録も行う。 第9回 振り返り・今後の活動について 【B. 地域つながり方デザイン講座】(1回2時間×5回) 2018年度に作成した教材「行動体験活動をデザインするための教材」を活用し、実際に地域の人と出会い、つながる体験を通じて日本語を学んでいく行動体験活動の作り方を学び、活動案を作成して実践する。 第1回 ・外国人のニーズに合ったテーマの選択と目標設定 ・協力者の役割・選択・依頼・調整の方法 第2回 ・活動の流れの作り方と活動をスムーズに行うための教材・資料 ・学びの見える化と学びの確認の方法 第3回 行動体験活動の計画を立てる 第4回 実践 第5回 振り返り		
実施期間	令和元年8月4日～令和2年2月29日	授業時間・コマ数	A. 1回 2.5時間 × 9回 = 22.5時間 B. 1回 2時間 × 5回 = 10時間
対象者	A. 日本語支援者、または日本語ボランティア活動に関心があり、修了後継続して教室で活動できる人 B. 日本語指導者・補助者、外国人支援に関心のある人	参加者	総数 40人 A. 受講者 21人、指導者・支援者等 5人 B. 受講者 11人、指導者・支援者等 3人
カリキュラム案活用	A. 日本語ボランティア養成講座 ・初回のオリエンテーションの内容に、「指導力評価項目」を参考にして教室活動に携わる人に必要なことを盛り込んだ。 ・対話活動の実践の計画の際にカリキュラム案の「生活上の行為の事例」、日本語能力評価の「能力記述の一覧」を活用して外国人参加者のニーズにあったテーマや活動内容を選んだ。活動方法はガイドブックの「タスク」「エクササイズ」の多様な例を参考に考えた。 ・「日本語教育人材の養成・研修の在り方について」の「日本語教師[養成]」に求められる資質・能力が養われるよう、項目を講座内容に盛り込んだり、実践の際に、資質・能力の項目を参考にアドバイスを行った。 B. 地域つながり方デザイン講座 ・「ガイドブック」を活用してプログラムの具体的な作り方を考えた。 ・「教材例集」を参考に活動に必要な資料を考えた。		

使用した教材・リソース	A. 日本語ボランティア養成講座 ・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案5点セット ・磐田対話教材「にほんごでおしゃべりしよう！」 ・行動体験の活動のための教材「街に出よう！人と出会おう！」 ・講師が用意したオリジナル教材 B. 地域つながり方デザイン講座 ・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案5点セット ・行動体験の活動のための教材「街に出よう！人と出会おう！」									
	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン	日本
	1人									27人
受講者の出身 (ルート)・国別内訳(人)	※AとB.両方を受講した日本人4人									
養成・研修の実施内容【A. 日本語ボランティア養成講座】										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名		
1	令和元年8月4日(日) 13:30~16:00	2.5	ワークピア 磐田	13	教室見学・オリエン テーション	1. 自己紹介 2. オリエンテーション 3. 見学についての説明 4. 教室見学 5. 共有 6. お知らせ 7. ふりかえりシートの記入	鈴木ゆみ	なし		
2	令和元年8月17日(土) 13:30~16:00	2.5	ワークピア 磐田	14	地域の多文化共生	1. 自己紹介 2. 日本における外国人の集住 3. 日本の地域社会 4. 外国人の受け入れ政策 5. 静岡県多文化意識調査 6. 外国人が増えた地域社会(事例紹介) 7. グループディスカッション 8. まとめ 9. ふりかえりシートの記入	高畑幸	なし		
3	令和元年8月31日(土) 13:30~16:00	2.5	磐田市豊田 支所	13	地域日本語教室の あり方と日本語ボ ランティアの役割	1. 「地域日本語教室のあり方」を考える 2. 日本語ボランティアの役割を考える 3. 日本語ボランティアの基礎力 4. おわりに コミュニケーションとは 5. ふりかえり 6. ふりかえりシートの記入	米勢治子	なし		
4	令和元年9月14日(土) 13:30~16:00	2.5	磐田市豊田 支所	12	コミュニケーション スキル	1. 日本語学習支援に求められる姿勢 2. コミュニケーションスキルⅠ 聴く・待つ 3. コミュニケーションスキルⅡ やさしい日本語 4. 翻訳アプリの紹介 5. ふりかえりシート記入	萬浪絵理	なし		
5	令和元年9月19日(木) 18:45~21:15	2.5	磐田市豊田 支所	4	実践1	豊田日本語教室に受講者が補助者として参加 1. 事前打合せ 2. 授業参加 対話テーマ「買いたいもの」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし		
	令和元年9月22日(日) 13:45~16:15	2.5	ワークピア 磐田	1	実践1	ワークピア日本語教室に受講者が補助者として参加 1. 事前打合せ 2. 授業参加 対話テーマ「秋をたのしもう」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし		
	令和元年9月29日(日) 13:45~16:15	2.5	ワークピア 磐田	3	実践1	ワークピア日本語教室対話クラスに受講者が補助者として参加 1. 事前打合せ 2. 授業参加 対話テーマ「私の国では」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし		
	令和元年10月6日(日) 13:45~16:15	2.5	竜洋交流セ ンター	1	実践1	竜洋日本語教室に受講者が補助者として参加 1. 事前打合せ 2. 授業参加 対話テーマ「秋の楽しみ」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし		
	令和元年10月13日 (日) 13:45~16:15	2.5	ワークピア 磐田	3	実践1	ワークピア日本語教室に受講者が補助者として参加 1. 事前打合せ 2. 授業参加 対話テーマ「交通」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし		

	令和元年11月9日(土) 13:30~16:00 ※当初の実践予定だった10月12日の教室が台風で中止のため実践も延期、第6回、第7回の開催日と前後した	2.5	ららぽーと 磐田	3	実践1	LaLa日本語教室に受講者が補助者として参加 1. 事前打合せ 2. 授業参加 対話テーマ「ららぽーと探検②」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし
6	令和元年10月19日 (土) 13:30~16:00	2.5	磐田市豊田 支所	10	活動計画の立て方	1. 第5回実践ふりかえり 2. 第6~8回について 3. 磐田国際交流協会の日本語教室について 4. 活動計画の立て方 5. グループ活動 6. ふりかえりシート記入	川添裕子	なし
7	令和元年10月26日 (土) 13:30~16:00	2.5	磐田市豊田 支所	9	活動計画を立てる	1. グループ活動(活動計画) 2. 発表(グループごとテーマ提示)と意見交換 3. ふりかえりシート記入	川添裕子	なし
8	令和元年11月14日 (木) 18:30~21:30	2.5	磐田市豊田 支所	4	実践2	豊田日本語教室にて受講者が進行役・補助者として授業を実践 1. 授業開始前の打合せと準備 2. 授業 対話テーマ「趣味」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし
	令和元年11月17日 (日) 13:30~16:30	2.5	竜洋交流セ ンター	2	実践2	竜洋日本語教室にて受講者が進行役・補助者として授業を実践 1. 授業開始前の打合せと準備 2. 授業 対話テーマ「台風が来たら」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし
	令和元年11月23日 (土) 13:15~16:15	2.5	ららぽーと 磐田	3	実践2	LaLa日本語教室にて受講者が進行役・補助者として授業を実践 1. 授業開始前の打合せと準備 2. 授業 対話テーマ「買い物」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし
	令和元年11月24日 (日) 13:30~16:30	2.5	西貝交流セ ンター	2	実践2	西貝日本語教室にて受講者が進行役・補助者として授業を実践 1. 授業開始前の打合せと準備 2. 授業 対話テーマ「忘年会を楽しもう」 3. ふりかえり	川添裕子 (コーディネーター)	なし
9	令和元年12月7日(土) 13:30~16:00	2.5	磐田市豊田 支所	10	振り返り・今後の活動について	1. 第1~7回の振り返り 2. 第8回実践の振り返りと共有 3. これからの活動について考える 4. 座談会 5. ボランティア登録とふりかえりシート記入	川添裕子	なし
養成・研修の実施内容【B. 地域つながり方デザイン講座】								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師・指導者名	補助者・発表者・会議出席者等名
1	令和元年11月30日 (土) 10:00~12:00	2	磐田市豊田 支所	10	テーマの選択 目標の設定	1. 教材の紹介(文化庁のシリーズ、協会で作成した教材等) 2. 既に活動している人と、新規の人を組み合わせるグループを作り、「テーマの選択」をどうしているか話した後、全体で共有 3. どんな目標が考えられるか話し合った後、文化庁『日本語能力評価』を紹介し、意見交換する。	鈴木ゆみ	なし
2	令和元年12月14日 (土) 10:00~12:00	2	磐田市豊田 支所	9	提示の仕方 ワークシートの活用 学びの確認方法	1. 提示、ワークシート、学習の確認の目的を明確にする。 2. 活動事例を紹介し、いいところ、疑問に思ったこと、改善方法を出し合う。	鈴木ゆみ	発表者:川添裕子(謝金なし)、田中琢問
3	令和2年1月11日(土) 10:00~12:00	2	ワークピア 磐田	7	活動計画を立てる 教材を考える	グループに分かれて、どの教室で、どんな活動をするか計画を立てる。	鈴木ゆみ	補助者:川添裕子(謝金なし)、田中琢問

4	令和2年1月25日(土) 14:00~15:30	1.5	ららぽーと 磐田	3	実践	教室のメンバーの協力を得ながら、初めから終わりまで通して活動を進행する。 磐田市立総合病院の職員から、磐田病院への受信についての説明を聞く。経験したことがある症状についてグループで対話する。	鈴木ゆみ (コーディネーター)	田中琢間、磐田市総合病院医事課 吉筋達也、平野晴彦、磐田市総合病院通訳 平田ラリッサ、金谷直美、加茂真里奈、加茂礼子、カルドー多美、清水久美子、清水小百合(総合案内所)、村上ナオキ
	令和2年2月2日(日) 14:00~16:00	2	西貝交流センター	1	実践	教室のメンバーの協力を得ながら、初めから終わりまで通して活動を進행する。 すごろくの遊び方の説明し、家族・親戚等が集まるときに行うゲームはあるか対話をする。すごろくのマス目(3つ)の文章を学習者が考え、グループですごろくを完成させてみんなでゲームをしてみる。	仲田明子 (コーディネーター)	大場睦子、楠田登志代、一色尤異、鈴木加代子
	令和2年2月23日(日) 14:00~16:00	2	ワークピア 磐田	3	実践	教室のメンバーの協力を得ながら、初めから終わりまで通して活動を進행する。 自分の出身地について、グループで持ち寄った写真等を使って話す。補助者が手伝いながらワークシートに記入して学習者自身が出身地のことを説明できるようにし、一人ずつ発表する。	川添裕子 (コーディネーター謝金なし)	中村小十郎
5	令和2年2月29日(土) 10:00~12:00	2	ワークピア 磐田	6	振り返り	実践の報告、振り返り 今後の日本語教室への参加の仕方について話す	鈴木ゆみ	田中琢間

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【日本語ボランティア養成講座 第8回 令和元年11月14日 18:30~21:00】

豊田日本語教室にて受講者が進行役・補助者として授業を実践

1. 授業開始前の打合せと準備

2. 授業 ※4人の受講者が分担して進行役を務め、進行役でない時は補助者として学習者の対話の相手となる

対話テーマ「趣味」(以下授業の流れ)

1) 自己紹介(名前、国、好きなスポーツ)

2) ゲーム(全身じゃんけん)

3) 目標の確認と学習シート(前)記入

4) テーマ提示

進行役の4人それぞれの趣味を紹介、やりとりに使うキーフレーズを提示

5) グループ対話

6) 共有(全員発表)

7) ペア対話(3分×3回)

「最近嬉しかったこと、楽しかったこと」について話すよう指示

8) まとめ(学習記録、学習確認シート(後)記入)

9) ふりかえりとお知らせ(ひとこと感想、次回のテーマ、協会イベントのお知らせ)

3. 実践のふりかえり

実践ふりかえりシートの記入と気づきの共有

・学習者、補助者の方も含め、とても楽しんでくれたことが嬉しかった。

・グループ内の日本語レベルが違って、話題についていけなくなった人がいたのに気づき、声をかけた。

・グループで意見を出し合って計画を立てたのが良かった。



○取組事例②

【B.地域つながり方デザイン講座 第4回 令和2年1月25日 14:00-15:30】

LaLa日本語教室にて、外部講師として磐田市総合病院医事課から講師と通訳を招き、「病院」をテーマに進行役を実践

1. 授業開始前に補助者に活動の流れとやってもらいたいことを説明

2. 授業

1) あいさつ、自己紹介(名前、国、今日の体調)

2) 磐田市総合病院医事課職員の講話

・病院のかかり方(受診の流れ、受診料、地域の医院との関わり)

・簡単な医療用語: 初診、再診、薬の処方箋、会計

3) 質疑応答

4) グループ対話のための提示

・イラスト・写真を掲示し、自分の体験を紹介

・キーフレーズを提示

体の部位のイラスト

症状のイラスト

5) グループ対話

・自分の経験(失敗談など)を話す

・出身国と違うと感じたところ(比較)を話す

・不安に思っていることを話す・・・補助者に引き出してもらう

薬の飲み方が分らず、自分の判断で適当に服薬していた学習者がいたので、「食前」「食後」など薬袋や薬の箱等の説明に使われることばを確認した。

6) 発表(学んだことを一人ひとり発表する)

7) まとめ(学習記録、学習確認シート(後半)記入)

8) 全体会(全体で感じたことなどを一人ひとり話す)

3. 実践のふりかえり

実践してみて気付いたこと、反省を共有

・通訳を入れたため講話の時間が予定より長くなり、対話活動を縮小し、用意していたワークシートを急遽割愛し残念だった。

説明を「やさしい日本語」にすることで、通訳なしでできるとよい。

・病院が用意した資料が、昨年よりは「やさしい日本語」が取り入れられていたが、外国人により分かりやすく改善できそう。



(2) 目標の達成状況・成果

A.最終回(10人出席)に行ったアンケートの「このプログラムを受けて、「生活者としての外国人」のための日本語教育に関わってみたいと思いましたか」に対し5人が「関わってみたい」、残り5人が「できれば関わってみたい」と回答し、新規に10人がボランティア登録を行った。講座修了前から積極的に教室に参加している受講者もいて、日本語支援者を増やすという目標は達成できた。

B.日本語教室で活動している受講者が学習者の興味関心を考えて計画を立て、外部連携をして実践までできたので目標を達成したといえる。経験が豊富な受講者が、未経験の人をサポートしたことも、今後の教室活動により影響があると思う。最終回で、それぞれの実践の様子と反省を共有することができ、行動体験活動のデザインのイメージが更に膨らんだ。

(3) 今後の改善点について

A.外部講師の回は、すでに活動している指導者やボランティアにも参加してもらいたいと考え、単発受講可としたが、指導者が1人参加しただけだった。理由がはっきりしているわけではないが、主に新規の方が受講する養成講座の中というのが良くなかったかもしれない。すでに活動している方に受講してほしいものは、スキルアップ講座として別で打ち出してみたい。

B.連携・協力者との交渉を受講者が直接行うのは難しく、協会事務局が間に入ってしまったので、外部講師との連絡をどのように行うのがよいか検討していきたい。また、連携・協力者に「やさしい日本語」など外国人に分かりやすい説明や資料を準備してもらうことにも力を入れていきたい。

日本語教育のための学習教材の作成 【教材の名称：行動体験活動のための指導者向け教材の充実】

目的・目標	2018年度に作成した教材「行動体験活動をデザインするための教材」の整備・拡充をする。		
内容の詳細	【構成】 - 行動体験活動とは - 行動体験活動のつくり方 - 外国人のニーズに合ったテーマの選択 - 目標設定 - 連携・協力者について(役割・選択・依頼・調整の方法) - 活動の流れのつくり方 - 活動をスムーズに行うための教材・資料 - 学びの見える化・学びの確認 - プログラム案と教材案 - 生活課題の解決 - キャリアアップ - 相互理解 - 社会参加 【整備・拡充】 - 教室で行動体験活動をする際に写真を撮影し教材に追加掲載した。 - 行動体験活動のプログラム案とワークシート等の教材案を追加したり差替えたりした。 - ららぽーと磐田教室での実践から、役に立つ＋楽しい要素を教材に反映させた。 - 教室での実践を踏まえて連携する団体等を増やし追記した。 - 行動体験活動を実施する際のポイント等、補足説明を充実させた。 - つくり方の各項目についてより分かりやすくなるよう説明や図などを補足・追加した。		
実施期間	令和元年年5月9日～令和2年3月20日	作成教材の 想定授業時間	1回 2時間 × 34 回
対象者	日本語指導者	教材の頁数	80ページ(表紙、裏表紙含む)
カリキュラム案活用	「ガイドブック」を活用して、目標設定の仕方、プログラムの具体的な作り方の参考にした。 「教材例集」を参考に活動に必要な資料を考えた。 「能力評価」の「能力記述」等を活用してテーマの選択や目標設定、学びの確認の仕方と考えた。		
事業終了後の教材活用	- 地域つながり方デザイン講座の教材として活用する。 - 日本語指導者に配布し、行動体験活動の計画・実施に活用してもらう。 - 行動体験活動をした後、学びの確認に利用する。		
成果物のリンク先			



4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

これまで築き上げてきた地域の連携体制と対話活動・行動体験活動を基盤に、生活課題の解決やキャリアアップに役立つ活動内容に、更に「楽しい」要素を取り入れて教室の魅力アップを図るとともに、教室活動の様子の発信と参加者の募集方法を工夫することで、より多くの外国人の参加を促し、「生活者としての外国人」の生活課題の解決と地域の多文化理解を促進し、誰もが地域社会で自分らしくより豊かに生活できることを目指す。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

学習者の生活課題の解決やキャリアアップに役立つテーマを活動でとりあげ、これまで築いてきた地域との連携体制を活かして専門家に講師になってもらったり、地域へ出かけていくなどして、行動体験活動を通して学習者が日本でできることを増やした。これについてはアンケートで「このプログラムを受ける前よりも、日本での生活ができるようになったと思いますか」の設問に、「できるようになったと思う」「少しできるようになったと思う」を合わせ9割の学習者が以前よりできるようになったと感じていることからわかる(※コロナウイルスの関係で3月の教室が無くなり、実施できた数は少ないが)。また、教室ごとに富岡交流センター夏まつり、豊田ふれあいフェスタ、竜洋地区夏まつり、西貝地区文化祭といった地域のイベントに参加したり、ららぽーと磐田で店舗との連携で楽しく魅力ある活動をめざした。プログラムの内容にもアンケートで「満足」とした方が約8割ということで学習者にとって魅力ある内容になっていたと考える。

地域の多文化理解促進については、新しいボランティアや外部講師が教室活動に入ったり、逆に地域に出て行って地域のイベントや防災訓練などの事業に参加したりすることで、地域の日本人と外国人との接する機会を作ってきた。少しずつではあるが、地域の多文化理解が進んでいると感じる。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

- ・活動のテーマを決める際、生活上の行為の事例を参考にした。大分類・中分類の内容を表すイラストを提示した後、できるようになりたいことを話し合うと、学習者それぞれの具体的なニーズが出てきた。大きな括りでイメージを伝えることで、時間をかけず、いろいろな分野のニーズに気付いてもらえるのが良かった。
- ・「教室活動の記録」「毎回の学習の記録」を参考に、両方の内容を盛り込み、その回のねらいの達成を活動前後に数値で自己評価するふりかえりシートを作成、使用した。学習者が達成感を得られるとともに、指導者にとっては、学習者の自己評価の変化を見ることで、活動内容が効果的だったかどうか振り返る際に活かせるという成果があった。
- ・日本語ボランティア養成講座の内容に、「日本語教育人材の養成・研修の在り方について」の「日本語教師【養成】に求められる資質・能力」の内容を盛り込んだ。毎回行った振り返りシートの記入の内容や、最終回の座談会で話した内容などからも、修了者が必要な資質・能力を身につけたことがわかった。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

- ・磐田市外国人情報窓口で、転入者に日本語教室の案内をしてもらい、学習者の増加につながった。
- ・磐田商工会議所の会員への送付物に日本語教室の案内を入れてもらい、企業への周知をはかった。今年度は市内の企業を通じての問い合わせも多かった。
- ・ららぽーと磐田の協力で、ららぽーと磐田を会場とし教室を開催、施設内店舗での行動体験学習をすることで、より実践的な活動をすることができた。また、11月からは総合案内所の案内係の方が毎回交代で教室に参加してくださり、補助者をしながら外国人への対応の仕方について考えてもらうことができた。
- ・地域の夏祭り等のイベントや防災訓練に参加することにより、外国人が地域の催しに参加することが当たり前の雰囲気が出てきている。これらのイベントは、主催者の側から声をかけてもらうようになり、外国人が参加することが期待されている。防災訓練には、日本語教室に参加している学習者がいる企業の協力もあって多くの外国人が参加し、同じ訓練に参加した一般の方からもSNSを通じて感想が寄せられたりと、地域の多文化共生に対する理解も促進していると感じられた。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

- ・日本語教室については、市の外国人情報窓口でチラシを渡してもらい、協会ホームページ・Facebookへの教室情報・活動報告の掲載、磐田商工会議所の協力で企業へのチラシ配布などで周知を行った。新規参加者は、友人の紹介や会社のすすめで参加した方も多かったが、外国人情報窓口を通じての申込み、ホームページ・Facebookを見て直接の申込みも一定数あり、周知の効果があつたといえる。
- ・竜洋教室、豊田教室、ワークピア教室、LaLa日本語教室でFacebookを使い教室参加者への連絡や活動の様子を流すなどした。LaLa日本語教室はブラジル人コミュニティのネットワークとつながることで、情報の拡散効果は他の教室に比べて非常に大きかった。
- ・日本語ボランティア養成講座は磐田市の広報誌への掲載、県協会情報誌への掲載、公共施設へのチラシの配布、ホームページ・Facebook、協会会員宛のメール告知等を行った。市の広報誌を見ての申込みが最も多く、ホームページ、チラシを見て、という参加者もあった。各戸配布の市の広報誌への掲載が最も効果があった。
- ・事業の成果については協会ホームページ・Facebookで活動の報告を行った。また、自治会の多文化共生に関する会議や東海日本語ネットワークのシンポジウムのブースで日本語教室の取り組みについて発表するなどした。

(6) 改善点、今後の課題について

- ・日本語がゼロ初級の方の参加継続が、ブラジル人通訳を置いた日本生活クラスの設置により改善されたが、他の言語の方については対応しきれていない。学習時の通訳というよりは言語に関係なく外国人参加者の学習継続の支えになるスタッフの設置が必要。
- ・新規の学習者も多かったが、長く住んでいる人など、教室の情報がまだ届いていない人も多いと思われる。LaLa日本語教室がブラジル人コミュニティのネットワークとつながって情報が拡散できたように、これまでと違う角度からのアプローチが必要。
- ・養成講座の受講者の中には講座修了後、後から入る自分が教室のスタッフたちに受け入れられるか心配、という人もいた。養成講座では教室での実践も行っているが、実践を行った教室に行くとも限らないので、教室スタッフと受講者が接する機会を増やし、スムーズに教室活動に入れるよう配慮がいると思った。

(7) その他参考資料

チラシ一覧

- ・いわたICE日本語教室
- ・いわたICE(磐田国際交流協会)地域日本語教室(マップ型開催日入り)
- ・ASSOCIAÇÃO DE INTERCÂMBIO INTERNACIONAL DE IWATA MAPA DO CURSO DE JAPONÊS DA REGIÃO DE IWATA
- ・豊田大人と子どものにほんご教室
- ・西貝日本語教室 ♪たのしい にほんご♪
- ・LaLaにほんごきょうしつ
- ・竜洋日本語教室
- ・ワークピア にほんご きょうしつ
- ・防災訓練に参加しよう！
- ・Vamos participar dos treinos contra catástrofes da região!
- ・日本語ボランティア養成講座2019
- ・地域つながり方デザイン講座2019